

図 3.5.4. (続き) 無処理のクロマトグラム

キウイフルーツ 絞るかす

10  $\mu$ L/2 mL/2 g

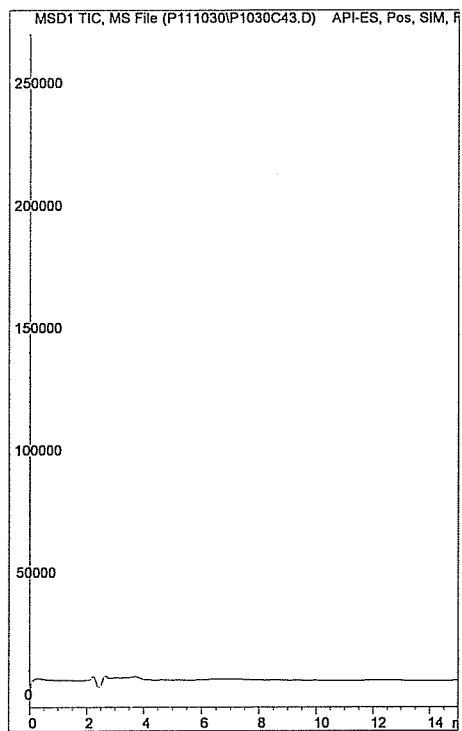
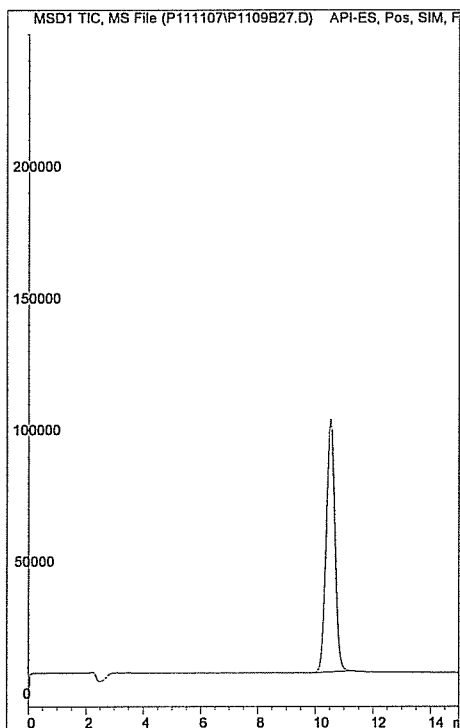


図 3.5.5. 処理のクロマトグラム

キウイフルーツ 処理区

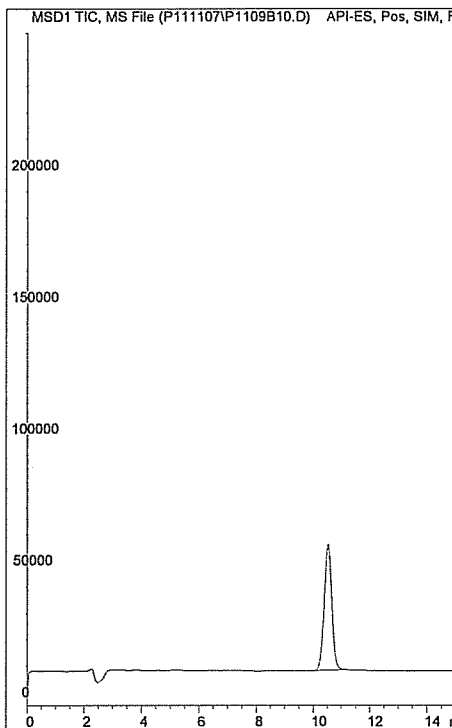
全果実

10  $\mu$ L/80 mL/2 g



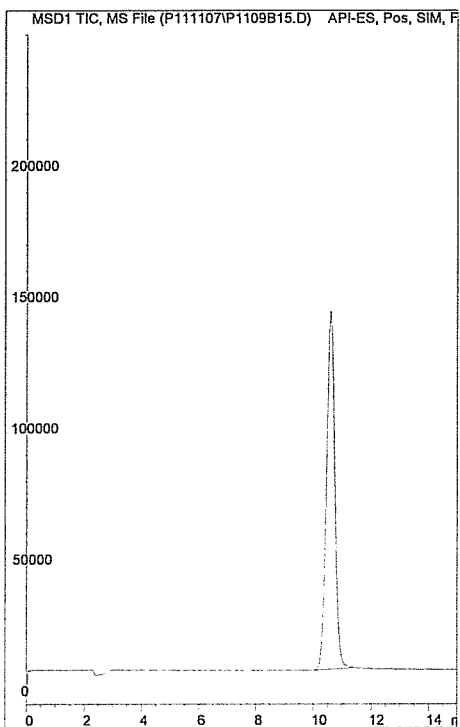
果肉

10  $\mu$ L/2 mL/2 g



果皮

10  $\mu$ L/200 mL/1 g



果汁

10  $\mu$ L/1 mL/2.5 g

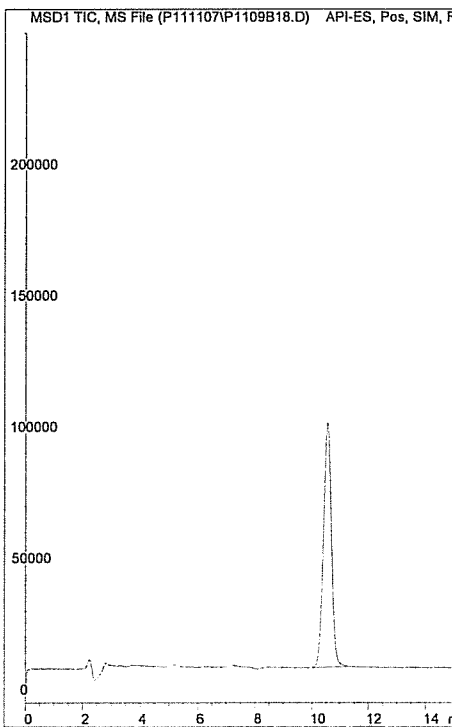
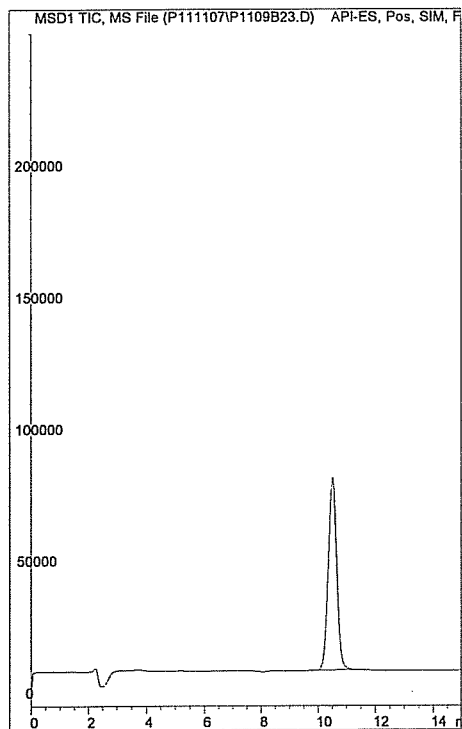


図 3.5.5. (続き) 処理のクロマトグラム

絞りかす

10  $\mu$ L/2 mL/2 g



# 平成23年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

( 試験期間 2 3 年 1 2 月 )

## 1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①エトフェンプロキサ(レボソ)乳剤, ②フェノカルブ(ハツホ)乳剤, ③イタクロワリド(トコ代)顆粒水和剤, ④クワテジノ(ダント)水溶液
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①エトフェンプロキサ 20%, ②フェノカルブ 50%, ③イタクロワリド 50%, ④クワテジノ 16%
- (3) 被験物質のLot No. ①エトフェンプロキサ R1104, ②フェノカルブ 1201N, ③イタクロワリド TON01, ④クワテジノ SIC983

2. 農作物名 大玉すいか 品種名 夜空

3. 試験実施機関名 社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土・堆積土・堆積土・堆積土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬 (別紙として提出しません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・採果(10a)、水管理等、  
施設資材(架設資材、支柱、トンネル等)の設置時期、若の葉刈り、2次栽培の収穫時期を記載する。

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 無袋

播種：平成23年9月11日，定植：10月6日，畝幅：140cm，株間：40cm，1条植，

約1800株/10a，施肥(処理区圃場)：平成23年8月23日 ケントトップ 1500kg/10a，

苦土石灰 150kg/10a，9月10日 こうち園芸ペレット (6-8-4) 167kg/10a，

施肥(無処理区圃場)：平成23年8月23日 ケントトップ 1500kg/10a，苦土石灰 100kg/10a，

9月29日 こうち園芸ペレット (6-8-4) 167kg/10a，

人工交配：10月30日～11月13日，加温栽培，

その他管理は慣行に従った。

収穫期間(適期)：平成23年12月中旬

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ — を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙として提出しません)

別紙に記載。

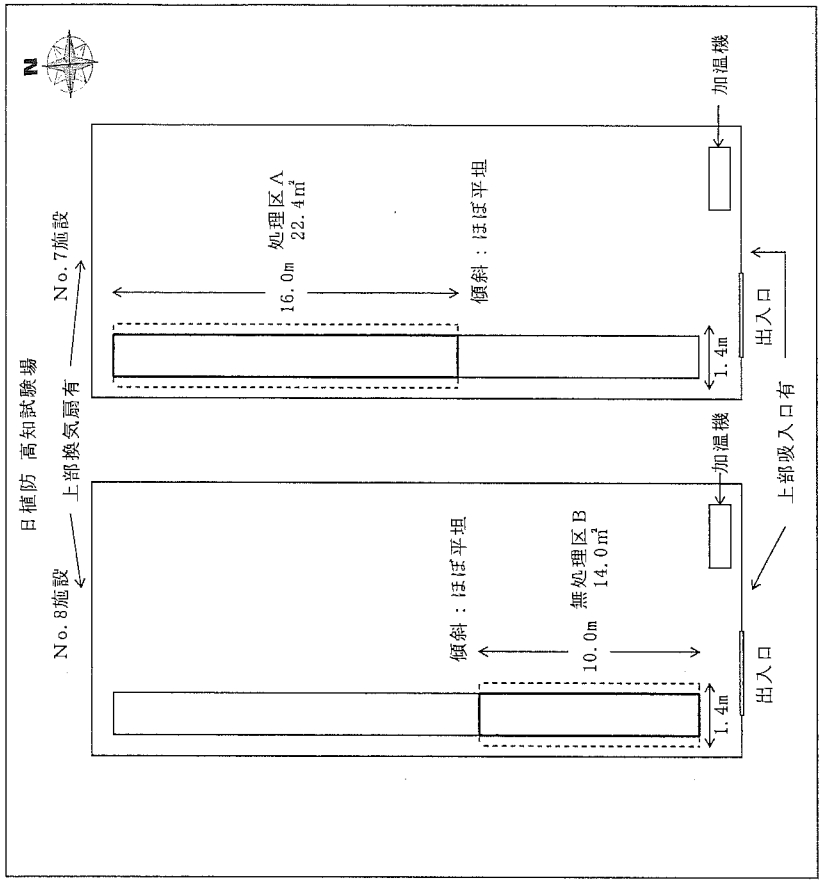
## 10. 試験区

(1) 試験区の面積および本(株)数 処理区A：22.4㎡，40株 無処理区B：14.0㎡，25株

(2) 施設の場合、面積・高さ 面積：225㎡，容積：680㎡，高さ：3.4m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区間の距離を記入して下さい。  
イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。水田は排水口および排水口を記入して下さい。  
ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。



1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)	
	①, ②, ③, ④	①, ②, ③, ④	①, ②, ③, ④	①, ②, ③, ④	①, ②, ③, ④	10a当		試験区当 (農薬量/散布量/面積)				
H23年12月1日	○						①1000倍, ②1500倍, ③10000倍, ④20000倍	280L	①6.3mL, ②4.2mL / 6.3L/22.4m <sup>2</sup> ③0.63g, ④3.15g	成熟期	茎葉散布	
12月8日	○						①1000倍, ②1500倍, ③10000倍, ④20000倍	280L	①6.3mL, ②4.2mL / 6.3L/22.4m <sup>2</sup> ③0.63g, ④3.15g	成熟期	茎葉散布	
12月12日	○						①1000倍, ③10000倍	280L	①6.3mL, ③0.63g / 6.3L/22.4m <sup>2</sup>	成熟期	茎葉散布	
12月14日	○						②1500倍, ④20000倍	280L	②4.2mL, ④3.15g / 6.3L/22.4m <sup>2</sup>	収穫期	茎葉散布	
月 日	①: エトフェブ・ロックス(レボ・ソ)乳剤											
月 日	②: フェノキカル(ハ・ワキ)乳剤											
月 日	③: イミダクロプリド(アドマイヤ)顆粒水和剤											
月 日	④: ノロチンジソ(カントツ)水溶剤											
月 日												
月 日												
月 日												

区分	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具 (機種)、樹等散布、散水散布時の水管理、 土壌処理時の湿度、土壌水分、種子消毒時の水温、濃度等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
H23年12月1日	処理時の環境条件等 背負式バグリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンノズル1頭口を 装着し均一に散布。	土壌処理時の湿度、土壌水分、種子消毒時の水温、濃度等 MSB111-A) にキョウカコンノズル1頭口を	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する 処理開始時刻; 16:40 処理時の天候: 曇 当日の天候: 曇後雨
12月8日	背負式バグリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンノズル1頭口を 装着し均一に散布。	丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンノズル1頭口を	処理開始時刻; 15:50 処理時の天候: 曇 当日の天候: 雨後曇
12月12日	背負式バグリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンノズル1頭口を 装着し均一に散布。	丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンノズル1頭口を	処理開始時刻; 16:20 処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
12月14日	背負式バグリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンノズル1頭口を 装着し均一に散布。	丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンノズル1頭口を	処理開始時刻; 15:50 処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 曇後晴れ
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考

( 2 3 - 調理加工大玉すいか )

1 2 . 試料採取 ( 試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式) に記入したものを記載する )

採取月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H23. 1 2 月 1 5 日	A	B (無処理)						採取 A ; 11 : 30 ~ 11 : 50 B ; 10 : 00 ~ 10 : 30 天候 : 晴れ	B → A	各区 1 4 個 × 各区 以上 ×	1 2 月 1 5 日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日

採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)											
H23. 1 2 月 1 5 日	1. 試料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅い ) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅い ) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅い ) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅い ) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅い ) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅い ) 3. その他 ( ) 4. 原因											

( 1 ) 試料採取方法 使用した器具 ( 機械 ) , 採取方法の詳細、  
 処理後等保管のための輸送方法を記載

処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鈎を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで自動車で運んだ。

( 2 ) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、  
 果実を個別に包装紙で包んだ後、ポリエチレン袋に入れ、包装紙を敷いたダンボール箱に入れ梱包した。破損防止のため、ダンボール箱の底にエアクッションを敷き、  
 ダンボール箱外の底周囲にエアクッションを貼り付けた。

ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り試験区毎に梱包した。

( 3 ) 試料送付先 公的分析機関：財団法人 残留農薬研究所 社内分析機関：—

( 4 ) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、  
 到着日を12月16日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

( 5 ) 備考 —

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

処理区Aに使用した施設

平成22年秋 冬作 : いちご

平成22年 8/6 ナリシ 30L/10a,

8/31 クロビリン・ホクテートくん蒸剤 30L/10a,

9/2 ラクトトップ マグネート 50倍 散布

9/10, 13, 16 トップジム水和剤 1000倍 苗浸漬処理,

9/24 シヨール 500倍, トロネート7077 2000倍, ベルトラ7077 2000倍 散布,

10/8 シヨール 1000倍, プレオ7077 1000倍, ベルトラ7077 2000倍 散布,

10/11 ベスタ液剤 通路に200倍散布,

10/20 アミスター207077 2000倍, フェンクス顆粒水和剤 2000倍 散布,

11/8 シヨール 500倍, ベルトラ7077 2000倍, プレオ7077 1000倍 散布,

11/25 シヨール 500倍, ベルトラ7077 1000倍, 777-A乳剤 2000倍 散布,

11/27 ベスタ液剤 通路に200倍散布,

12/16 シヨール 1000倍, カンタライ7077 1000倍 散布,

12/7, 14, 21 ゲッカー水和剤 1000倍 散布,

平成23年 1/4 フェンクス水和剤 2000倍 散布

1/6 フェンクス水和剤 4000倍, シヨール 500倍, フェンクス顆粒水和剤 2000倍 散布,

1/11 ガートホー液剤 3000倍 2L/㎡ 灌注,

1/28 777-A乳剤 2000倍, フェンクス水和剤 2000倍, シヨール 500倍 散布,

2/11 フェンクス水和剤 2000倍, シヨール 500倍, プレオ7077 1000倍 散布,

2/7, 14, 21 ANM-1387077 1000倍 散布。

平成23年春 夏作 : なす

平成23年 5/10 シフトネリアー液剤 2g/株, パーティン粒剤 2.5g/株,

5/27 ANM-1387077 1000倍, シフトネリアー顆粒水和剤 2000倍, パーティン水和剤 1000倍 散布,

6/10 ストーンエース顆粒水和剤 5000倍, マイクスター7077 1000倍 散布,

6/13 A-253乳剤 2000倍, A-253乳剤 4000倍, 777-A乳剤 2000倍 散布,

6/13, 20 ホリスターAL水和剤 5000倍 散布,

6/14 アミスター7077 1000倍 散布。

無処理区Bに使用した施設

平成22年秋 冬作 : さやいんげん

平成22年 9/2 ラクトトップ マグネート 50倍 散布,

10/29 ナリシ液剤 500倍 2L/㎡ 灌注,

11/20 ベスタ液剤 通路に200倍散布,

12/8 777-A乳剤 2000倍, プレオ7077 4000倍 散布,

12/7, 14, 21, 28 フェンクス(BCF-061)7077 2000倍, IKF-5411SC400 1500倍, IKF-5411SC400 3000倍, ME-5923乳剤 1000倍, ME-5923乳剤 2000倍, S-2200 40SC 2000倍, ゲッカー水和剤 1000倍 散布。

平成23年春 夏作 : さやうり

平成23年 5/10 フェンクス粒剤 1g/株,

5/25 シフトネリアー 1000倍 散布,

5/31 777-A乳剤 2000倍, シフトネリアー 1000倍 散布,

6/7 ゲッカー水和剤 1500倍 散布,

6/15 フェンクス水和剤 3000倍, シフトネリアー 1500倍, ゲッカー水和剤 1500倍 散布,

5/27, 6/2, 10, 17 DK1-10010D 5000倍, SB-43037077 1000倍, フェンクス1000 1000倍 散布,

6/10, 17, 23 NC-2337077 20 1000倍, フェンクス1000 1000倍, カンタライ7077 1500倍 散布。

9. 被験物質以外に使用した農薬

平成23年 11/2 フェンクス水和剤 3000倍, パーティン水和剤 1000倍 散布,

11/18 カンタライ7077 1000倍, 777-A乳剤 2000倍, フェンクス1000 1000倍 散布,

12/2 777-A乳剤 2000倍, ストーンエース水和剤 1000倍, ストーンエース顆粒水和剤 2000倍 散布。

( 23-観理加工大玉すいか )

# 気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深刈 (社)日本植物防疫協会 高知試験場

記号：○：薬剤処理日  
△：試料採取日

気温：平均気温 ( 1 時間毎) 降水量：日界 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_

( 23年 )

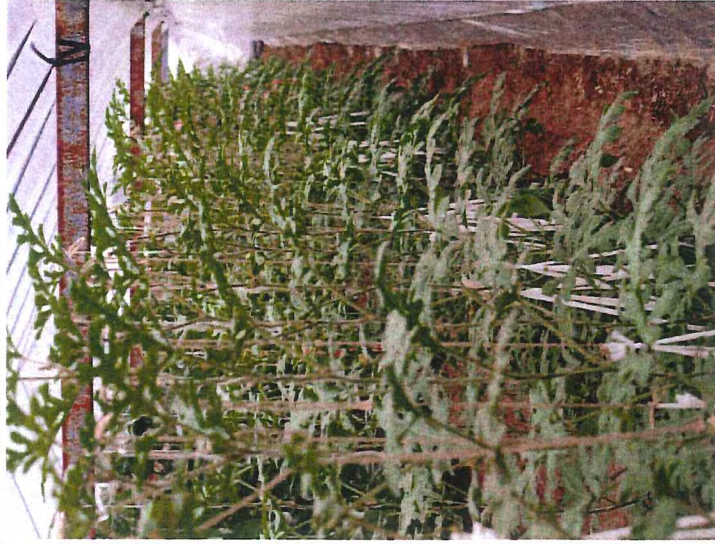
月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
1	気温 (施設内温度)	17.1	16.6	19.5	18.5	17.9	18.6	17.9	14.3	17.6	18.0	17.4	17.4	16.8	18.4	16.3																			
	降水量																																		
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)	○ A						○ A					○ A		○ A	△ A, B																			
	気温 (施設内温度)																																		
	降水量																																		
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)																																		
	気温 (施設内温度)																																		
	降水量																																		
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)																																		
	気温 (施設内温度)																																		
	降水量																																		
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)																																		

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合は「気温」欄へそれぞれ記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、データロガー (株式会社 アイワト デイ おんどり TR-71U) を使用した。

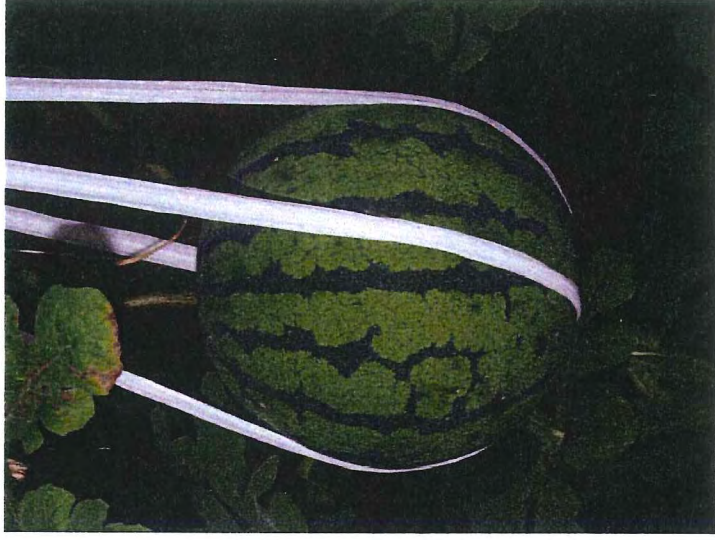




試験区



第3回散布時果実



採取前日果実

# 平成 23 年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

試験場名 (社) 日植防宮崎試験場

(試験期間 23年 11月 ~ 23年 11月)

## 1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①エトフェンプロックス (トレボン) 乳剤, ②フェノプロカルブ (パッサ) 乳剤, ③イミダクロプリド (アドマイヤー) 顆粒水和剤, ④クロチアニジン (グントツ) 水溶液
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①エトフェンプロックス 20%, ②フェノプロカルブ 50%, ③イミダクロプリド 50%, ④クロチアニジン 16%
- (3) 被験物質の Lot No. ①RIH04, ②1201N, ③TON01, ④SJC983

2. 農作物名 すいか 品種名 綿王

3. 試験実施機関名 社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下郡珂 試験場内圃場

4. 試験責任者氏名 櫻井昭寿 日高正浩 福元義人 和田倉誠也

5. 土性 砂壌土 滅水深          cm/日

- 6. 過去 1 年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)
- H22秋冬 スロン 10/10/19 MCW-2(MAI-08012, thiazosulfene) 粒剤 20kg・30kg/10a 全面土壌混和
- 10/10/21 リーダー乳剤 スーパー顆粒水溶液 2000倍 カーズ-IPZ水和剤 1000倍 モリソク水和剤 2000倍
- 10/11/19 モリソク水和剤 3000倍 カタストライアブール 1000倍 ジマク/イソ水和剤 600倍 スト/エー顆粒水和剤 5000倍
- 10/12/10 モリソクVPジエト 200g/400㎡くらんぽ
- H23冬春 ビーマン 11/3/8, 15, 22 BPMC(パッ) 乳剤 1500倍 11/3/18, 25, 4/01 オカリニク酸(カタ)水和剤 2000倍
- 11/3/29, 4/05 トワズピラト(ワフク)7P77ル 1000倍
- 畑地 11/8/02 D-D和 30%<sup>2</sup>/10a, 土壌処理

7. 栽培概要 品種: 綿王, 移植期: 11/8/20(播種), 畝間: 2.5m, 株間: 0.30m

8. 施設 <施設> 一有袋一無袋

播種: 平成23年8月23日 (台木: かちどき2号 11/8/20播種) 定植: 平成23年9月21日

畝間: 2.50m 株間: 0.30m 1条植 主枝2本 栽植本数(10aあたり): 1,300株 透明マルチ 圃場は概ね平坦

施肥(10aあたり): <元肥> 11/9/01 堆肥 3000kg 苦土石灰 120kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12) 50kg

有機配合888号(8-8-8) 75kg

<追肥> 無し

収穫期間(適期): 11/下 ~ 受粉ピーク: 10/11 ~ 10/15

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージを記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

11/9/29 モリソク水和剤 3000倍 スピラン水溶液 4000倍

11/10/20 モリソク水和剤 3000倍 スピラン水溶液 2000倍 カタスト/7P77ル 1000倍

11/10/24 モリソク水和剤 3000倍 ジマク/イソ水和剤 600倍

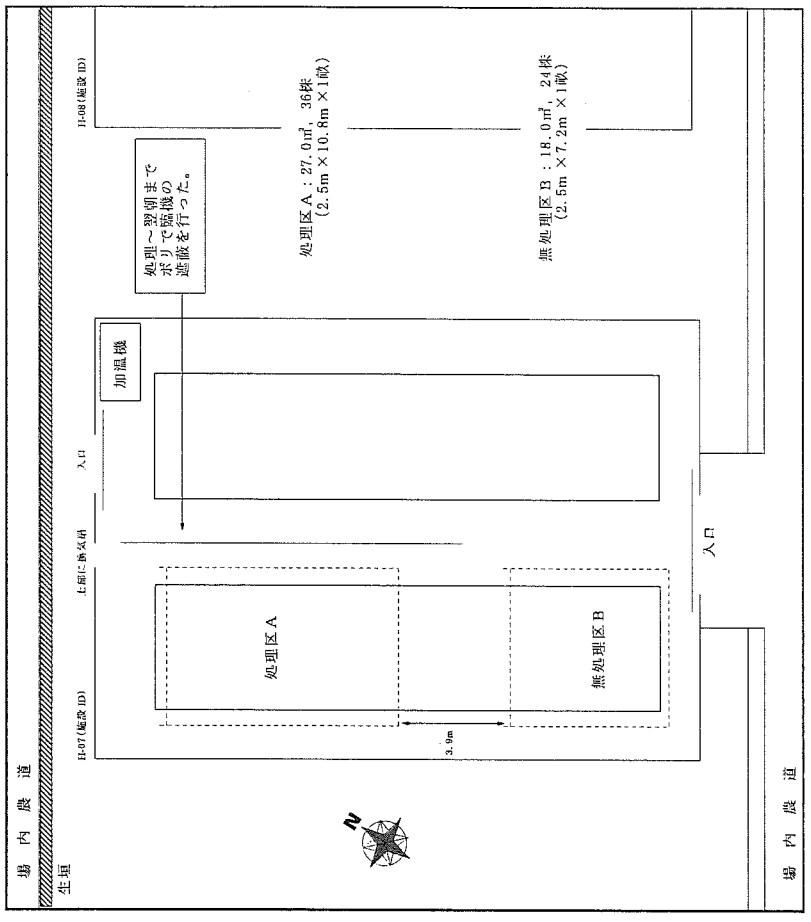
## 1.0. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A: 27.0㎡ (36株) 無処理区B: 18.0㎡ (24株)
- (2) 施設の場合、面積・容積・高さ 150㎡ (6.0m×25.0m), 450㎡, 最高3.7m
- (3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺地帯等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて株の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。

ウ) 圃場の成方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。圃場1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて株の伸長方向を記載して下さい。



1 1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

処理月日	区分		A区	B区	処理濃度	処理量		処理時の生育ステージ	処理方法(概略)
	11月	12月				10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
1 1 月 1 6 日	①②③④	(混用散布)	無処理		1000倍, 1500倍 10000倍, 2000倍	221 <sup>リットル</sup>	①12.0ml, ②98.0ml, ③1.20g, ④5.00g/12.0リットル 調整液を作業。27.0mlに5.97%を散布した。	果実肥大期	茎葉散布
1 1 月 2 3 日	①②③④	(混用散布)			1000倍, 1500倍 10000倍, 2000倍	221 <sup>リットル</sup>	①12.0ml, ②98.0ml, ③1.20g, ④5.00g/12.0リットル 調整液を作業。27.0mlに5.97%を散布した。	生育期	茎葉散布
1 1 月 2 7 日	①③	(混用散布)			1000倍, 10000倍	221 <sup>リットル</sup>	①10.0ml, ③1.00g/10.0リットル調整液を作業。 27.0mlに5.97%を散布した。	生育期	茎葉散布
1 1 月 2 9 日	②④	(混用散布)			1500倍, 2000倍	221 <sup>リットル</sup>	②6.0ml, ④4.50g/9.0リットル調整液を作業。 27.0mlに5.97%を散布した。	収穫初期	茎葉散布
			①エトエンブ <sup>®</sup> ロックス(トポソ <sup>®</sup> )乳剤 1000倍						
			②フェノキサリド(パット)乳剤 1500倍						
			③イミダクロプリド(7Eマイヤ)顆粒水和剤 10000倍						
			④クロチアジニン(ダントツ)水溶液 2000倍						

処理月日	区分		処理方法の詳細、 処理時の環境条件等		処理時刻AM9:58~	特に降雨の有無と降雨時間、 処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	処理時刻、 処理時の天候を含む処理日の天候概況
	11月	12月	丸山製 バッテリー噴霧機	丸山製 バッテリー噴霧機			
1 1 月 1 6 日			丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A + 狭角ノズル	丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A + 狭角ノズル	無風		処理時刻、 処理時の天候を含む処理日の天候概況
1 1 月 2 3 日			丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A + 狭角ノズル	丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A + 狭角ノズル	無風		
1 1 月 2 7 日			丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A + 狭角ノズル	丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A + 狭角ノズル	無風		
1 1 月 2 9 日			丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A + 狭角ノズル	丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A + 狭角ノズル	無風		

(1) 展着剤 — 使用した区番号

濃度または量

展着剤名

(2) 備考

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する)

採取月日	区分	A区 試料番号	B区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
1 1 月 3 0 日		A	B	AM8:04-8:12, 9:41-9:50 晴れ	B→A	各区 15個× 1分析	1 1 月 3 0 日

採取月日	区分	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
1 1 月 3 0 日		
		1. 試料の大きさは ( 通常 ) 2. 熟期は ( 通常 ) 3. その他 ( ) 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、  
採取後乾燥のための輸送方法を記載

南北の境界部を除き、偏りがないよう区全体から採取専用のハサミを用いて果実を採取し、ボークスペースーパーを敷いたカゴに入れた。

(2) 採取後の調製・梱包方法

果実を個別にボークスペースーパーで包み、2重にしたポリ袋に入れ口を縛り、エアキャップ (小・2枚重ね) で包んだ。ダンボール箱の底にエアキャップ (大・2枚重ね) を敷き、その上にボークスペースーパーを敷き入れ、包装した果実を並べ入れた。隙間および上部にボークスペースーパーおよびエアキャップを詰めた。箱の内側に試験区ラベルを、外側に

梱包シールを貼り付けした。なお、試験区毎に別梱包とした。

(3) 試料送付先 分析機関：財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、  
輸送会社等

ヤマト運輸株式会社 の便で、着日および冷蔵を指定し送付した。

(5) 備考

気象表

観測地点および試料調製場所 観測地点：宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場内 当該試験施設

記号 ○：薬剤処理日  
△：試料採取日

気温：平均気温 ( 1 時間毎 ) 時  
降水量：日界 時

( 23 年 )

測定時刻

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	気温 (施設内温度)																19.4	20.1	18.6	22.4	20.1	18.7	18.3	18.4	19.0	19.6	19.2	19.2	19.4	21.2	21.4				
	降水量																																		
11	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)																○ A							○ A				○ A		○ A		△ A, B			

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、「露地試験の場合は「気温」欄へそれぞれ記入する。  
また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

<調理加工・すいか大玉>

試験施設



圃場風景



使用した散布機



散布時作物

処理 1 回



処理 2 回

※写真無し

処理 3 回



処理 4 回

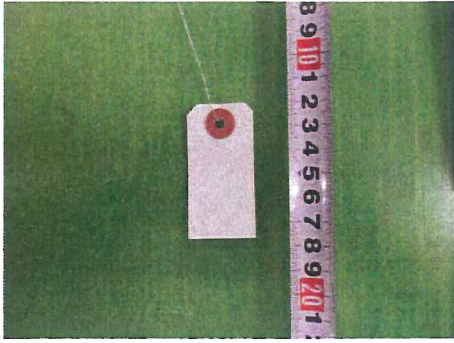


採取時作物





※荷札の大きさ



(試験期間 23年12月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①エトフェブワックス(レボソ)乳剤, ②フェノカブ(ハッパ)乳剤, ③イシカブ(トマ付)顆粒水和剤, ④カブ(トマ付)水溶液
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①エトフェブワックス 20%, ②フェノカブ 50%, ③イシカブ 50%, ④カブ 16%
- (3) 被験物質のLot No. ①エトフェブワックス RIH04, ②フェノカブ 1201N, ③イシカブ TON01, ④カブ SIC983

2. 農作物名 小玉すいか 品種名 紅こたまり

3. 試験実施機関名 社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深割本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一

5. 土性 砂土・砂壌土 (塚土・堰殖土 (Oを付す)) 滅水深 ー cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬 (別紙として掲載しません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度 (畝間・株間)・株数/10a、水管理等、栽培資材 (茶豆殻いり堆肥等)、いちご、おとうま等の被験時期、葉の張れいし、おとうま等の被験時期を記載する。

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 無袋

播種: 平成23年9月11日, 定植: 10月6日, 畝幅: 140cm, 株間: 40cm, 1条植,

約1800株/10a, 施肥: 平成23年8月16日 コア粕 2300kg/10a, 苦土石灰 100kg/10a,

9月30日 こうち園芸ペレット (6-8-4) 167kg/10a,

人工交配: 10月31日~11月20日, 加温栽培,

その他管理は慣行に従った。

収穫期間 (適期): 平成23年12月中旬

8. 生育ステージ シ 試験計画書に指定された生育ステージを記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙として掲載しません)

別紙に記載。

1.0. 試験区

(1) 試験区の面積および本(株)数 処理区A: 33.6m<sup>2</sup>, 60株

無処理区B: 33.6m<sup>2</sup>, 60株

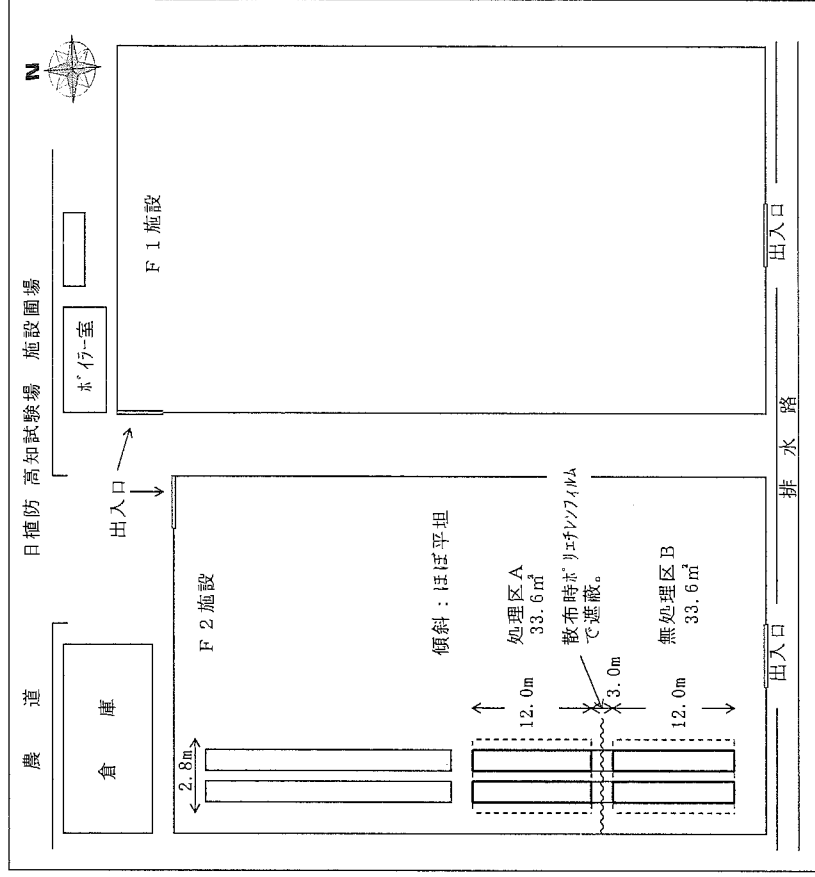
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積: 814m<sup>2</sup>, 容積: 2481m<sup>3</sup>, 高さ: 3.9m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農圃等の状況がわかるように記入して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長

方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の方位、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区 B 区 C 区 D 区 E 区 F 区							処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)	
	10a当		試験区当 (農薬量/散布量/面積)		10a当		試験区当 (農薬量/散布量/面積)						
H23年12月1日	①, ②, ③, ④						①1000倍, ②1500倍, ③10000倍, ④2000倍	280L	①9.4mL, ②6.27mL, ③0.94g, ④4.7g	9.4L/33.6㎡	成熟期	茎葉散布	
12月8日	①, ②, ③, ④						①1000倍, ②1500倍, ③10000倍, ④2000倍	280L	①9.4mL, ②6.27mL, ③0.94g, ④4.7g	9.4L/33.6㎡	成熟期	茎葉散布	
12月12日	①, ③						①1000倍, ③10000倍	280L	①9.4mL, ③0.94g	9.4L/33.6㎡	成熟期	茎葉散布	
12月14日	②, ④						②1500倍, ④2000倍	280L	②6.27mL, ④4.7g	9.4L/33.6㎡	収穫期	茎葉散布	
月 日	①: エトフェン・ロックス(トボソ)乳剤												
月 日	②: フェノキカルブ(パツサ)乳剤												
月 日	③: イミダクロプリド(アトマイヤ)顆粒水和剤												
月 日	④: カロチニソンの(ダントク)水溶液												
月 日													
月 日													
月 日													

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等		処理時の使用器具 (機械), 散布器, 灌水散水時の水管理、 土壌温和時の深度・土壌水分、種子播種時の水湿、成虫等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
	H23年12月1日	処理時の環境条件等 背負式ハッチ-噴霧機 (丸山製作所 MSB1111-A) にキョウカコソノリス #1 頭口を 装着し均一に散布。	土壌温和時の深度・土壌水分、種子播種時の水湿、成虫等 丸山製作所 MSB1111-A) にキョウカコソノリス #1 頭口を 装着し均一に散布。	処理時刻、処理時の天候 : 曇	当日の天候 : 曇後雨	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
12月8日	背負式ハッチ-噴霧機 (丸山製作所 MSB1111-A) にキョウカコソノリス #1 頭口を 装着し均一に散布。	丸山製作所 MSB1111-A) にキョウカコソノリス #1 頭口を 装着し均一に散布。	処理時刻、処理時の天候 : 曇	当日の天候 : 曇後雨	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
12月12日	背負式ハッチ-噴霧機 (丸山製作所 MSB1111-A) にキョウカコソノリス #1 頭口を 装着し均一に散布。	丸山製作所 MSB1111-A) にキョウカコソノリス #1 頭口を 装着し均一に散布。	処理時刻、処理時の天候 : 晴れ	当日の天候 : 晴れ	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
12月14日	背負式ハッチ-噴霧機 (丸山製作所 MSB1111-A) にキョウカコソノリス #1 頭口を 装着し均一に散布。	丸山製作所 MSB1111-A) にキョウカコソノリス #1 頭口を 装着し均一に散布。	処理時刻、処理時の天候 : 晴れ	当日の天候 : 曇後晴れ	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 — 展着剤名 — 濃度または量 —

(2) 備考 被験物質処理時、処理区と無処理区の区界にポリエチレン製の遮蔽を設けた。

1 2 . 試験採取 ( 試験番号は試験送付時に「送付カード」(別添様式) に記入したものを記載する )

採取月日	A 区 試験番号	B 区 試験番号	C 区 試験番号	D 区 試験番号	E 区 試験番号	F 区 試験番号	G 区 試験番号	試験採取時刻と天候	試験採取順 ( 区番号順 )	試験送付量	試験送付月日
H23. 1 2 月 1 5 日	A	B ( 無処理 )						採取 A ; 13 : 20 ~ 13 : 40 天候 : 晴れ B ; 10 : 45 ~ 11 : 05	B → A	各区 1 4 個 ×	1 2 月 1 5 日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日

採取月日	送付試験料について ( 該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する )										
H23. 1 2 月 1 5 日	1. 試験料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅熟 ) 3. その他 ( ) 4. 原因										
月 日	1. 試験料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅熟 ) 3. その他 ( ) 4. 原因										
月 日	1. 試験料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅熟 ) 3. その他 ( ) 4. 原因										
月 日	1. 試験料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅熟 ) 3. その他 ( ) 4. 原因										
月 日	1. 試験料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅熟 ) 3. その他 ( ) 4. 原因										
月 日	1. 試験料の大きさは ( やや大きい / 通常 / やや小さい ) 大きさはバラツキがある 2. 熟期は ( やや早い / 通常 / やや遅熟 ) 3. その他 ( ) 4. 原因										

( 1 ) 試験採取方法 使用した器具 ( 機械 )、採取方法の詳細、採取後処理等のための輸送方法を記載

処理区および無処理区試験料は、試験区の境界線を除く試験区全体から鉢を用いて採取した。

採取した試験料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試験調整室まで自動車で運んだ。

( 2 ) 採取後の調製・梱包方法 試験料直後の加工、水洗い、種等の除去、固着、乾燥、包装、果実を個別に包装紙で包んだ後、ポリエチレン袋に入れ、包装紙を敷いたダンボール箱に入れ梱包した。破損防止のため、ダンボール箱の底にエアクッションを敷き、ダンボール箱外の底周囲にエアクッションを貼り付けた。

ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り試験区毎に梱包した。

( 3 ) 試験送付先 公的分析機関：財団法人 残留農薬研究所 社内分析機関：—

( 4 ) 試験の輸送方法 到着日指定：温度指定、調整会社等

到着日を12月16日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

( 5 ) 備考 —

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

処理区Aに使用した施設

平成22年秋冬作：ピーマン  
平成22年 8/27 DC油剤 20L/10a,  
10/21 7ホバリン粒剤 2g/株,  
10/23 777-A乳剤 2000倍 散布,  
10/28 モリスカ水和剤 4000倍 散布,  
11/11 モリスカ水和剤 3000倍, 777-A乳剤 2000倍, スカーフ顆粒水溶液 2000倍 散布,  
11/30 モリスカ水和剤 3000倍, 777-A乳剤 2000倍, ベストコート水溶液 1000倍 散布,  
12/14 三共の草枯らし 通路に50倍散布,  
12/24 モリスカ水和剤 3000倍, スレック水和剤 1000倍, 777-A乳剤 2000倍, スカーフ顆粒水溶液 3000倍 散布,  
12/14, 21, 28, 平成23年 1/4 ウツド顆粒水和剤 2000倍 散布,  
1/28 モリスカ水和剤 2000倍, 777-A乳剤 2000倍 散布,  
2/7, 14 ホバリン粒剤 2g/株 散布,  
2/24 トマト777 4000倍 散布,

平成23年春夏作：オクラ

平成23年 4/11 アンマ777 1000倍 灌漑  
4/15 777-A乳剤 2000倍, エビラン水溶液 4000倍 散布,  
4/15 トレトホ777 4000倍 灌漑,  
4/26 777-A乳剤 2000倍, トマト777 4000倍 散布,  
5/3 777-A乳剤 720倍 散布,  
5/10 777-A乳剤 2000倍, トマト777 4000倍, モリスカ水和剤 3000倍 散布,  
5/27 777-A乳剤 1000倍 散布,  
5/23, 30 トマト777 1000倍 散布,  
6/6, 13, 20 777-A乳剤 2000倍 散布,

9. 被験物質以外に使用した農薬

平成23年 8/19 DC油剤 20L/10a,  
9/15 777-A乳剤 1000倍, スカッシュ 2000倍 散布, (育苗期)  
9/28 777-A乳剤 1000倍, 777-A水和剤 2000倍, スカッシュ 2000倍 散布,  
10/2 777-A乳剤 1000倍, スカッシュ 2000倍 散布,  
11/11 ベストコート水溶液 1000倍, 777-A乳剤 2000倍, モリスカ水和剤 3000倍, 777-A乳剤 1000倍 散布,  
11/25 777-A乳剤 2000倍, カクストライ777 1000倍 散布,  
12/2 777-A乳剤 2000倍, スレック水和剤 1000倍, スカーフ顆粒水溶液 2000倍 散布,  
12/9 ベストコート水和剤 2000倍, 777-A乳剤 1000倍, スカーフ顆粒水溶液 2000倍 散布,

( 23 - 調理加工小玉すいか )

# 気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 (社)日本植物防疫協会 高知試験場

記号：○：薬剤処理日  
△：試料採取日

気温：平均気温 ( 1 時間毎 ) 降水量：日界 \_\_\_\_\_ 時

( 23年 )

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
1	気温 (施設内温度)	16.8	17.6	20.1	21.2	21.0	20.9	19.6	16.7	20.5	20.7	20.0	20.8	20.9	20.2	20.3																	
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)	○ A						○ A				○ A			○ A	△ A, B																	
2	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)																																

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、サーカール (株式会社 アイデア) おんどとり TR-7101 を使用した。

( 2 3 — 調理加工小玉すいか )



3回目散布時果実



採取前日果実

# 平成 23 年度 農業作物残留量分析試験調製明細書

(試験期間 23 年 11 月 ~ 23 年 11 月)

## 1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①エトフェンプロックス (トレボシ) 乳剤, ②フェニプロカルブ (バッサ) 乳剤, ③イミダクロプリド (アドマイヤー) 顆粒水和剤, ④クロチアニジン (ダントツ) 水溶液
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①エトフェンプロックス 20%, ②フェニプロカルブ 50%, ③イミダクロプリド 50%, ④クロチアニジン 16%
- (3) 被験物質の Lot No. ①RIH04, ②1201N, ③TON01, ④SJC983

2. 農作物名 すいか

品種名 ひとりじめHM

3. 試験実施機関名 社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下郡珂 試験場内圃場

4. 試験責任者氏名 櫻井昭寿 日高正浩 福元義人 和田倉誠也

5. 土性 砂壤土

一畝水深

6. 過去 1 年間に作付けた作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)

- H22秋冬 マロニ 10/10/19 MCW-2 (MAI-08012, thiazosulfene) 粒剤 20kg・30kg/10a 全面土壌混和
- 10/10/21 777-A 乳剤 スカーン顆粒水和剤 2000倍 カセ-TPZ水和剤 1000倍 モルタン水和剤 2000倍
- 10/11/19 モルタン水和剤 3000倍 カタストライアット水和剤 1000倍 ジマグ・イザ水和剤 600倍 ス・エース顆粒水和剤 5000倍
- 10/12/10 モルタン水和剤 200g/400㎡くん堆
- H23冬春 ビーマン 11/3/8 15, 22 BPMC (6, 9) 乳剤 1500倍 11/3/18, 25, 4/01 ネリニグ酸 (5分ナ) 水和剤 2000倍
- 11/3/29, 4/05 トムエトランド (9分ナ) 7077 水和剤 1000倍
- 圃地 11/8/02 D-D 剤 30%<sup>2</sup>/10a, 土壌処理

## 7. 栽培概要

播種期・移植期・施肥の種類・量・時期、前倒、前倒、栽培密度 (畝間・株間)・株数 (10a)、水管理等、被験資材 (袋は袋別番号) いろいろとう等の播種時期、茶の袋別番号、トネ栽培の播種時期を記載する

## < 施設 >

播種: 平成23年8月23日 (台木: ちちどき2号 11/8/20播種) 定植: 平成23年9月21日  
 畝間: 2.50m 株間: 0.30m 1条植 主枝2本 栽植本数(10aあたり): 1,300株 透明マルチ 圃場は概ね平坦

施肥(10aあたり): <元肥> 11/9/01 堆肥 3000kg 苦土石灰 120kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12) 50kg  
 有機配合888号(8-8-8) 75kg

## < 追肥 > 無し

収穫期間(適期) : 11/中 ~ 受粉ピーク: 10/12~10/16

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージを記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

11/9/29 モルタン水和剤 3000倍 モスビラン水和剤 4000倍

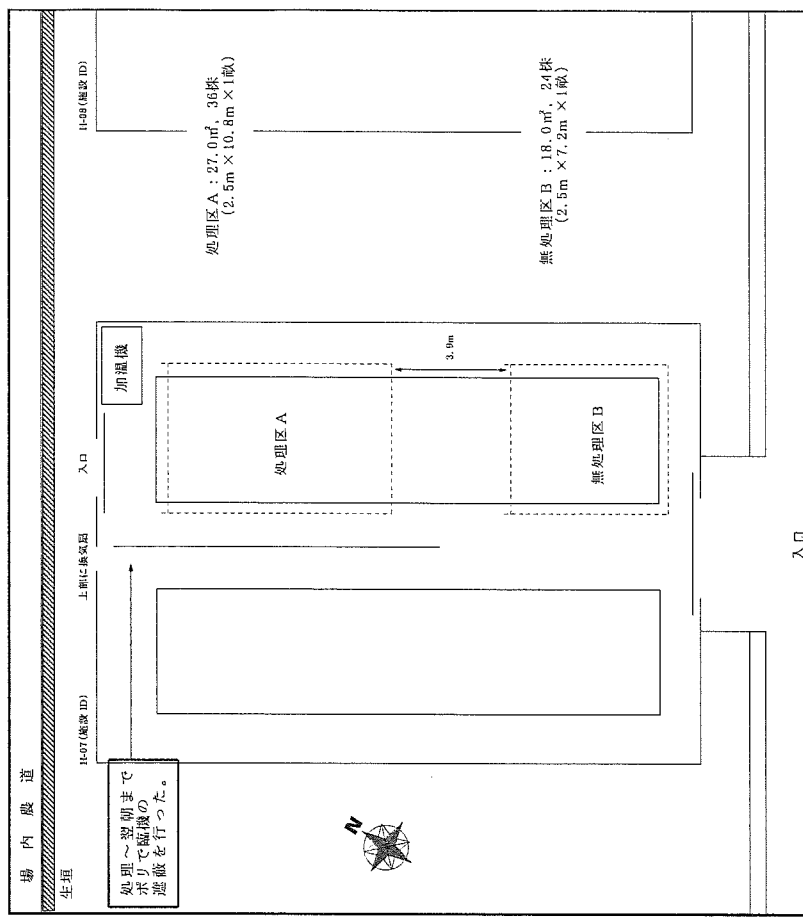
11/10/20 モルタン水和剤 3000倍 モスビラン水和剤 2000倍 カタストライアット水和剤 1000倍

11/10/24 モルタン水和剤 3000倍 ジマグ・イザ水和剤 600倍

## 10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A: 27.0㎡ (36株) 無処理区B: 18.0㎡ (24株)
- (2) 施設の場合、面積・高さ 150㎡ (6.0m×25.0m), 450㎡, 高さ3.7m
- (3) 試験区の配置図 (試験区全体および無処理区等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置図を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の仰底方向を記載して下さい。  
 イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。  
 ウ) 圃場の取方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は排水口および排水溝を記入して下さい。





1 1 . 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「〇」あるいは剤型を記載する)

処理月日	区分		A区	B区	処理濃度	処 理 量 10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	処理時の生育 ステージ	処理方法(概略)
	①②③④	(混用散布)							
1 1 月 8 日	①②③④	(混用散布)		無処理	1000倍, 1500倍 10000倍, 2000倍	221%	①12.0ml, ②8.0ml, ③1.20g, ④6.00g/12.01% 調製液を噴霧。27.0mlに5.97%を散布した。	果实肥大期	茎葉散布
1 1 月 1 5 日	①②③④	(混用散布)			1000倍, 1500倍 10000倍, 2000倍	221%	①9.0ml, ②8.0ml, ③1.20g, ④6.00g/12.01% 調製液を噴霧。27.0mlに5.97%を散布した。	生育期	茎葉散布
1 1 月 1 9 日	①③	(混用散布)			1000倍, 10000倍	221%	①10.0ml, ③1.00g/10.01%調製液を噴霧。 27.0mlに5.97%を散布した。	収穫初期	茎葉散布
1 1 月 2 1 日	②④	(混用散布)			1500倍, 2000倍	221%	②6.0ml, ④4.50g/9.0%調製液を噴霧。 27.0mlに5.97%を散布した。	収穫期	茎葉散布

処理月日	区分		処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、 土壌温和時の深さ、土壌水分、種子消毒時の水温、液比等	丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A+狭角ノズル 丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A+狭角ノズル 丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A+狭角ノズル 丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A+狭角ノズル	茎葉散布 茎葉散布 茎葉散布 茎葉散布	処理時刻PM3:32～ 処理時刻PM3:32～ 処理時刻PM0:45～ 処理時刻PM3:47～	天候:曇り 天候:晴れ 天候:曇り 天候:晴れ	無風 無風 無風 無風	処理後の天気は曇り 処理後の天気は晴れ 処理後の天気は晴れ 処理後の天気は晴れ	特に降雨の有無と降雨時間、 処理時刻PM3:32～ 処理時刻PM3:32～ 処理時刻PM0:45～ 処理時刻PM3:47～	処理時刻、 処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、 処理時刻PM3:32～ 処理時刻PM3:32～ 処理時刻PM0:45～ 処理時刻PM3:47～	処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、 処理時刻PM3:32～ 処理時刻PM3:32～ 処理時刻PM0:45～ 処理時刻PM3:47～
	1 1 月 8 日	1 1 月 1 5 日											
1 1 月 8 日													
1 1 月 1 5 日													
1 1 月 1 9 日													
1 1 月 2 1 日													

(1) 展着剤 ー 使用した区番号

展着剤名

濃度または量

(2) 備考

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する)

採取月日	区	A 区 試料番号	B 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
1 1 月 2 2 日		A	B	AM7:06-7:12, 8:10-8:18 晴れ	B→A	各区 1 6 個× 1 分折	1 1 月 2 2 日

採取月日	区	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
1 1 月 2 2 日		1. 試料の大きさは ( 通常 ) 2. 熟期は ( 通常 ) 3. その他 ( ) 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (錫紙) 採取方法の詳細、果取後処理のための輸送方法を記載

南北の境界部を除き、偏りがないよう区全体から採取専用のハサミを用いて果実を採取し、ボーカーペーパーを敷いたカゴに入れた。

(2) 採取後の調製・梱包方法

果実を個別にボーカーペーパーで包み、2重にしたポリ袋に入れ口を縛り、エアキャップ (小・2枚重ね) で包んだ。ダンボール箱の底にエアキャップ (大・2枚重ね) を敷き、その上にボーカーペーパーを敷き入れ、包装した果実を並べ入れた。隙間および上部にボーカーペーパーおよびエアキャップを詰め、箱の内側に試験区ラベルを、外側に梱包シールを貼り付けた。なお、試験区毎に別梱包とした。

(3) 試料送付先 分析機関：財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、輸送会社等

ヤマト運輸株式会社 の便で、着日および冷蔵を指定し送付した。

(5) 備考

# 気象表

観測地点および試料調製場所 観測地点：宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場内 当該試験施設  
 記号 ○：薬剤処理日 △：試料採取日

気温：平均気温 ( 1 時間毎 ) 降水量：日界 時

( 23年 ) 測定時刻

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	気温 (施設内温度)								21.9	17.7	18.4	20.2	20.6	20.2	20.0	20.0	19.4	20.1	18.6	2.4	20.1	18.7	18.3	18.4									
	降水量																																
	II							○							○					○		○	△										
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)							A							A					A		A	A, B										

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、「気温」欄へそれぞれ記入する。  
 また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同等の番号) を当該欄へ記入する。

<調理加工・すいか小玉>

試験施設



圃場風景



使用した散布機



散布時作物

処理 1 回

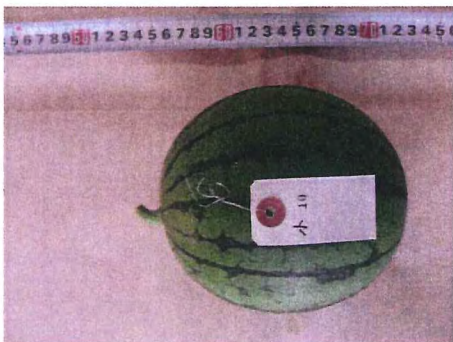
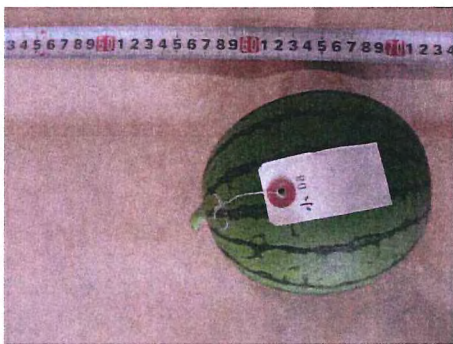
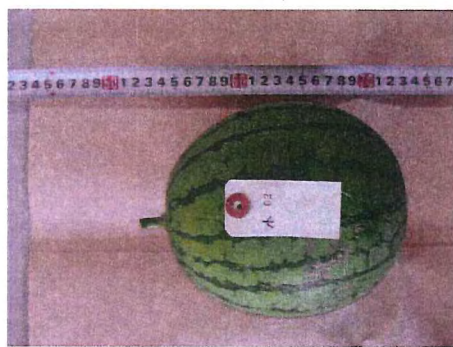


処理 2 回

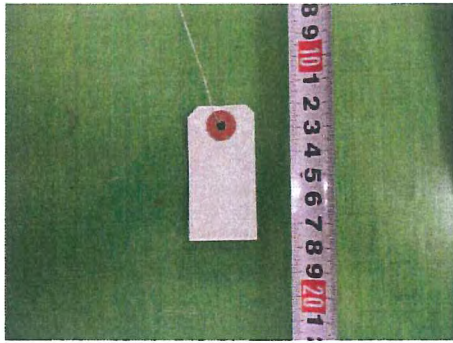


処理 3 回  
※写真無し  
処理 4 回  
※写真無し

採取時作物



※荷札の大きさ



# 平成23年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 23年11月 ~ 23年12月)

## 1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①ハルトリン(チカロキシリン)乳剤, ②フェノカワ(ハカサ)乳剤, ③シカカワ(トリマ付)顆粒水和剤, ④カチン(カチン)水溶液
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①ハルトリン 6.0%, ②フェノカワ 50%, ③イカリカワ 50%, ④カチン 16%
- (3) 被験物質のLot No. ①ハルトリン Ald04, ②フェノカワ 120IN, ③イカリカワ TON01, ④カチン SIC993

2. 農作物名 ネットメロン 品種名 雅秋冬412

3. 試験実施機関名 社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一

5. 土性 砂土・砂壤土 (○を付す) 圃土・軽圃土 減水深 一 cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 圃種別、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度 (畝間・株間)・株数(10a)、水管理等、被験資材 (葉に塗れる農薬等) うち、①、②、③は上記等の記載時期、葉の裏に塗、④は栽培の被験時期を記載する。

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 無袋

播種：平成23年8月25日，定植：9月12日，畝幅：120cm，株間：40cm，1条植，

約2100株/10a，施肥：平成23年8月23日 ケントップ 1500kg/10a，苦土石灰 100kg/10a，

9月8日 こうち園芸ベレット (6-8-4) 117kg/10a，人工交配：10月5日～11日，加温栽培，

その他管理は慣行に従った。

収穫期間 (適期)：平成23年12月中旬

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

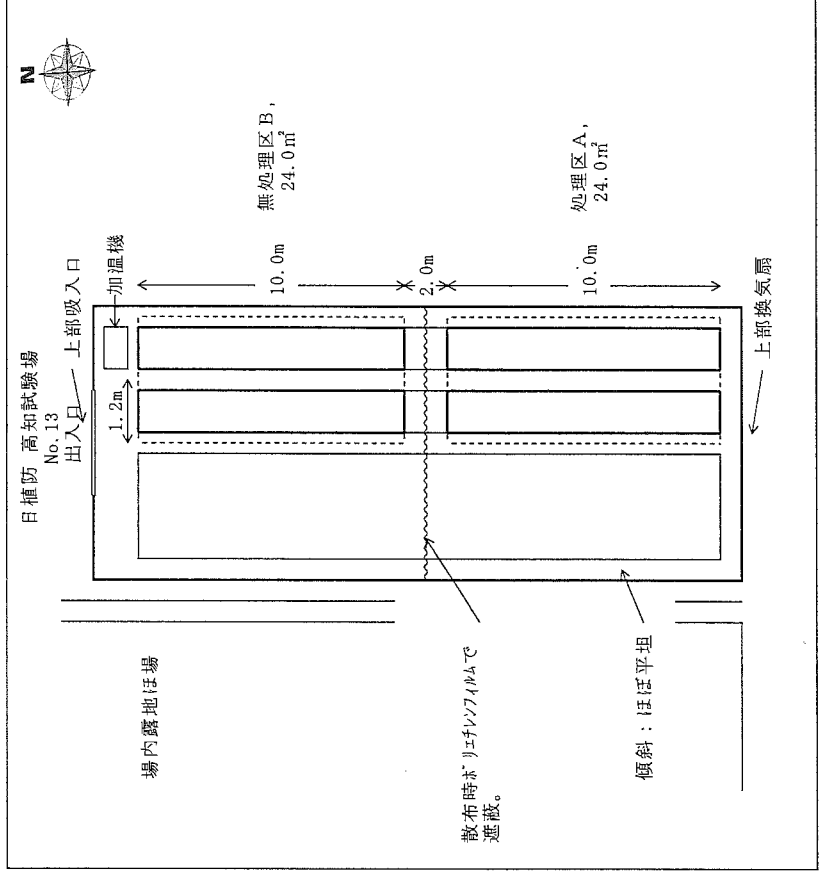
別紙に記載。

## 1.0. 試験区

- (1) 試験区の面積および本 (株) 数 処理区A：24.0m<sup>2</sup>，50株 無処理区B：24.0m<sup>2</sup>，50株
- (2) 施設の場合、面積・高さ 面積：129.6m<sup>2</sup>，容積：347m<sup>3</sup>，高さ：3m
- (3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の取方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。





区分 処理月日	A区	B区	C区	D区	E区	F区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
	無処理					1.0a当		試験区当(農薬量/散布量/面積)			
H23年11月17日	①						①1000倍	280L	①6.7mL / 6.7L / 24.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月24日	①, ②						①1000倍, ②1500倍	280L	①6.7mL, ②4.47mL / 6.7L / 24.0㎡	成熟期	茎葉散布
12月1日	①, ②, ③, ④						①1000倍, ②1500倍, ③10000倍, ④2000倍	280L	①6.7mL, ②4.47mL, ③0.67g, ④3.35g / 6.7L / 24.0㎡	成熟期	茎葉散布
12月8日	①, ②, ③, ④						①1000倍, ②1500倍, ③10000倍, ④2000倍	280L	①6.7mL, ②4.47mL, ③0.67g, ④3.35g / 6.7L / 24.0㎡	成熟期	茎葉散布
12月12日	③						③10000倍	280L	③0.67g / 6.7L / 24.0㎡	成熟期	茎葉散布
12月14日	①, ②, ④						①1000倍, ②1500倍, ④2000倍	280L	①6.7mL, ②4.47mL, ④3.35g / 6.7L / 24.0㎡	収穫期	茎葉散布
月 日											
月 日											
月 日											
月 日											

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等						処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌緩和時の湿度・土壌水分、種子消毒時の水理・産地等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	処理時の天候	処理時の天候	処理時の天候				
	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A								
H23年11月17日	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	処理開始時刻 ; 16 : 40	処理時の天候 : 曇	当日の天候 : 晴れ後曇
11月24日	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	処理開始時刻 ; 16 : 05	処理時の天候 : 晴れ	当日の天候 : 晴れ	
12月1日	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	処理開始時刻 ; 16 : 50	処理時の天候 : 曇	当日の天候 : 曇後雨	
12月8日	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	処理開始時刻 ; 15 : 15	処理時の天候 : 曇	当日の天候 : 雨後曇	
12月12日	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	処理開始時刻 ; 16 : 45	処理時の天候 : 晴れ	当日の天候 : 晴れ	
12月14日	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	背負式ハッチ-噴霧機 装着し均一に散布	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	丸山製作所 MSB1111-A	処理開始時刻 ; 16 : 15	処理時の天候 : 晴れ	当日の天候 : 曇後晴れ	
月 日																
月 日																
月 日																
月 日																

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考 被験物質処理時、処理区と無処理区の区界にポリエチレン製の遮蔽を設けた。

1 2 . 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式) に記入したものを記載する)

採 取 日 月	A 区 試 料 番 号	B 区 試 料 番 号	C 区 試 料 番 号	D 区 試 料 番 号	E 区 試 料 番 号	F 区 試 料 番 号	G 区 試 料 番 号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H23. 1 2 月 1 5 日	A	B (無処理)						採取 A ; 11 : 45 ~ 11 : 55 天候 : 晴れ B ; 9 : 55 ~ 10 : 05	B → A	各区 1 2 個 × 各区 以上 × 各区 以上 × 各区 以上 × 各区 以上 × 各区 以上 ×	1 2 月 1 5 日 月 日 月 日 月 日 月 日 月 日

採 取 日 月	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)											
H23. 1 2 月 1 5 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) (やや小さい) (異常) (その他) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) (やや小さい) (異常) (その他) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) (やや小さい) (異常) (その他) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) (やや小さい) (異常) (その他) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) (やや小さい) (異常) (その他) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) (やや小さい) (異常) (その他) 3. その他 ( ) 4. 原因											

( 1 ) 試料採取方法 使用した器具 (機体)、採取方法の詳細、採取後乾燥等のための輸送方法を記載

処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から採を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで自動車で運んだ。

( 2 ) 採取後の調製・梱包方法 試料採後後の加工、水洗い、根等の除去、風干、乾燥、梱包方法、調製・梱包方法、調製・梱包方法、調製・梱包方法を記載

梱包紙を敷いた新しいダンボール箱の底にエアクッションを敷き、試料を個別に包装紙で包んだ後、そのダンボール箱に入れ梱包した。

ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り試験区毎に梱包した。

( 3 ) 試料送付先 公的分析機関： 財団法人 残留農薬研究所 社内分析機関： -

( 4 ) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、冷蔵会社等

到着日を12月16日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

( 5 ) 備考 -

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

平成22年秋冬作：トマト

平成22年 9/2 ライトアグア マカスロート 50倍 散布,

10/22 ジマノア 粒剤水和剤 800倍, グエーノ1000 1000倍 散布,

11/5 フェックル 粒剤水和剤 2000倍 散布,

11/8 フェックル パトリック シロアフェックル レー 原液, エトリンア レー 原液, フェックル パトリック パニビ リアア レー 原液,  
エセ ラン水溶液 2000倍 散布,

11/15 シア パニビ 粒剤水和剤 2000倍, ALI-0922 乳剤 150倍, エセ ラン水溶液 2000倍 散布,

11/15, 22, 29 コツア 500倍 散布,

12/13, 20, 27 コツア 500倍 散布,

12/13 エセ ラン水溶液 2000倍 散布,

12/14 パス波剤 通路に200倍散布。

平成23年春季作：すいか

平成23年 4/20 ランア777 1000倍 散布,

4/22 けち レ波剤 500倍 灌注,

5/2 ベルカー ト水和剤 1000倍, ランア777 1000倍 散布,

6/3 777-4545 粒剤水和剤 1000倍, フェックル 粒剤水和剤 4000倍, エセ ラン水溶液 2000倍 散布,

6/10 ベルカー ト水和剤 1000倍, フェックル 水和剤 2000倍, ランア777 1000倍 散布,

7/25 ランア777 1000倍, トボソ 乳剤 1000倍 散布。

9. 被験物質以外に使用した農薬

平成23年 9/7 ランア777 水溶液 2000倍, スカッシュ 2000倍 散布, (育苗期)

9/20 スカッシュ 粒剤水溶液 2000倍, グエーノ1000 1000倍, 777-4 乳剤 2000倍 散布,

10/5 ベルカー ト 水溶液 1000倍, グエーノ1000 1000倍, ランア777 1000倍 散布,

10/7 777-4 乳剤 2000倍 散布,

10/21 グエーノ1000 1000倍, フェックル 水和剤 3000倍, ランア777 1000倍 散布,

10/21 けち ラン水溶液 50倍 塗布,

11/1 けち ラン水溶液 50倍 塗布,

11/4 グエーノ1000 1000倍, スカッシュ 粒剤水溶液 2000倍, フェックル 水和剤 3000倍 散布,

11/25 カンカスト ランア777 1000倍, 777-4 乳剤 2000倍, スカッシュ 粒剤水溶液 2000倍 散布,

11/27 けち ラン水溶液 50倍 塗布,

12/7 グエーノ1000 1000倍 散布。

# 気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 (社)日本植物防疫協会 高知試験場

記号；○：薬剤処理日  
△：試料採取日

気温：平均気温 ( 1 時間毎) 降水量：日界 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_

( 23年 )

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
1 1	気温 (施設内温度)																		18.9	17.8	21.3	19.9	19.5	19.3	17.9	19.7	19.6	19.8	18.6	20.9	20.8		
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)																		○						○								
1 2	気温 (施設内温度)	16.9	16.7	19.3	20.1	19.8	19.6	18.4	15.9	19.5	19.5	19.1	19.5	20.0	19.4	19.7																	
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)								○				○		○	△																	
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)																																
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)																																
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)																																

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合は「気温」欄へそれぞれ記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、テークカ- (株式会社 テイクカ- おんどとりTR-710i) を使用した。



試験区



1回目散布時果実



3回目散布時果実



採取前日果実

# 平成 23 年度 農業作物残留量分析試料調製明細書

## 1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①シベルメトリン (アゾブカルブ (バウサ) 乳剤) ②フェノブカルブ (アゾブカルブ (バウサ) 乳剤) ③イミダクロプリド (アドマイヤー) 顆粒水和剤 ④クロチアニジン (ラントス) 水溶剤
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①ベノラトリン 6.0%, ②7エ777 50%, ③シカノバト 50%, ④クワチニジン 16%
- (3) 被験物質の Lot No. ①A1D04, ②1201N, ③TON01, ④SJC983

2. 農作物名 メロン (ネット) 品種名 アールスメイズ秋冬II

3. 試験実施機関名 社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内圃場

4. 試験責任者氏名 櫻井昭寿 日高正浩 福元義人 和田倉誠也

5. 土性 砂壤土 一畝水深 1cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)  
 H22秋冬作 かぼちゃ 10/10/05 エスチクサ水和剤 3000倍 ヲンゾク水和剤 1000倍 777-A乳剤 1000倍 10/11/25 エスチクサ水和剤 3000倍  
 10/10/18, 26 エスチクサ水和剤 3000倍 10/11/11 エスチクサ水和剤 4000倍 10/11/25 エスチクサ水和剤 3000倍

ネット水溶剤 4000倍 10/10/04 MOW-2 (thiazosulfene) 粒剤 20kg・30kg/10a, 定植当日, 全面土壌混和  
 H23春作 さやいんげん 11/2/10 スレックくん煙顆粒 6g/100㎡ 11/2/15 777-A乳剤 1000倍 スレック水和剤 1000倍  
 11/2/24, 3/10 スレックくん煙顆粒 6g/100㎡ 11/2/21, 28, 3/07 777-A乳剤 1000倍 11/3/07  
 NNI-0712 (NNI-0711・7エ777) 777-A 2000倍  
 H23春夏作 きゅうり 11/4/07 ジョマダ イソ水和剤 600倍 エスチクサ水和剤 3000倍 エルバ水和剤 4000倍  
 アラビト 1000倍 11/4/15 ジョマダ イソ水和剤 600倍 エスチクサ水和剤 3000倍 11/4/26 ジョマダ イソ水和剤 600倍  
 エスチクサ水和剤 3000倍 ヲンゾク水和剤 1000倍 11/5/03 エスチクサ水和剤 200g/450㎡ 11/5/11 ジョマダ イソ水和剤 600倍  
 スーパースト水和剤 2000倍 ヲンゾク水和剤 3000倍 11/5/31 エスチクサ水和剤 3000倍 ジョマダ イソ水和剤 600倍  
 11/4/25, 5/2, 5/9, NE-17A (新規) 777-A 5, 1000倍

7. 栽培概要  
 節種別, 移植期, 施肥の種類・量・時期, 前倒, 前倒, 栽培密度 (畝間・株間)・株数 (10a)・株数 (10a)・水管理等,  
 被験資材 (茶葉は残った茶葉) いちご, おとうとう等の搬送時期, 茶の残った茶葉の搬送時期を記載する

< 施設 > 無袋

播種: 平成23年9月22日 定植: 平成23年10月17日 畝間: 1.35m 株間: 0.45m 1条植

栽植本数 (10aあたり): 1,600株 透明マルチ 圃場は概ね平坦

施肥 (10aあたり): < 元肥 > 11/9/30 堆肥 3000kg 苦土石灰 140kg CDU複合燐加安特S222 (12-12-12) 50kg

有機配合888号 (8-8-8) 75kg

< 追肥 > 無し

収穫期間 (適期) : 1/中~ 交配ロータ: 11/11/10~18

8. 生育ステージ 試験圃場に指定された生育ステージを記入する。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

< 育苗圃場 > 塩基性塩化銅 種苗会社による種子浸漬処理 11/9/22 グエー11000 1000倍, 1% / トリイ液注

11/10/12 エスチクサ水和剤 3000倍 エルバ水和剤 2000倍 ヲンゾク水和剤 1000倍 777-A乳剤 1000倍

< 定植後 > 11/10/24 エスチクサ水和剤 3000倍 スーパースト水和剤 2000倍

11/11/10 エスチクサ水和剤 3000倍 スーパースト水和剤 2000倍 ヲンゾク水和剤 1000倍

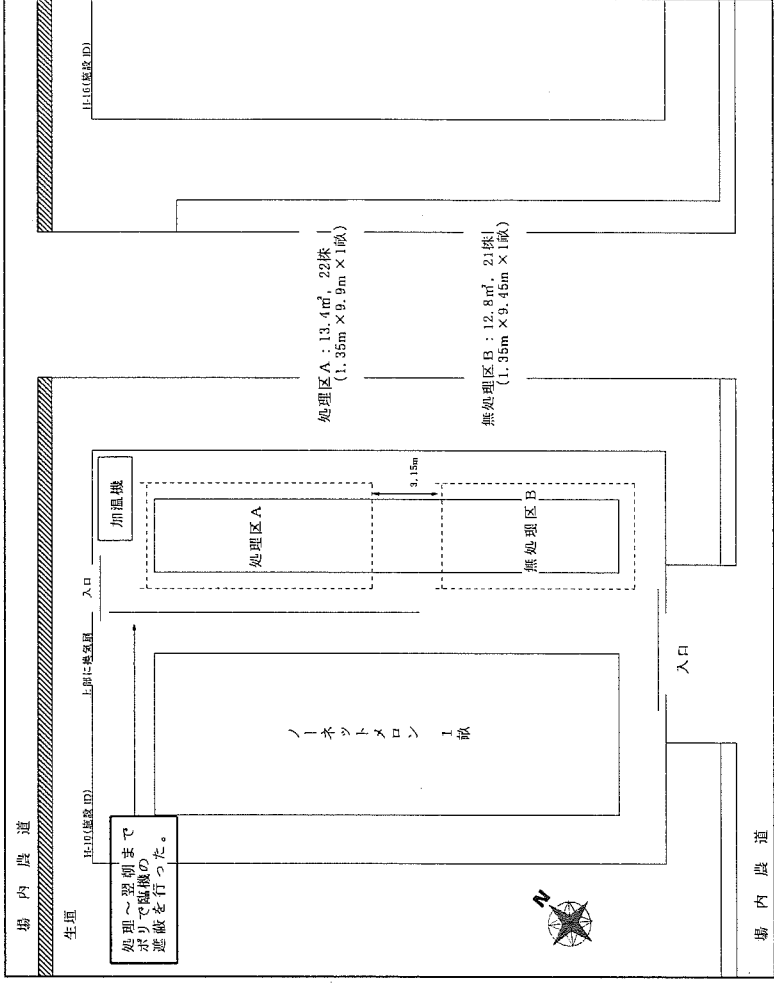
- 11/11/30 エスチクサ水和剤 3000倍 スレック水和剤 1000倍 777-A乳剤 1000倍 ヲンゾク水和剤 2000倍
- 11/12/09 エスチクサ水和剤 3000倍 ヲンゾク水和剤 2000倍
- 11/12/22 エスチクサ水和剤 3000倍 ヲンゾク水和剤 1000倍 エルバ水和剤 2000倍

1.0. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A: 13.4㎡ (22株) 無処理区B: 12.8㎡ (21株)

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 150㎡ (6.0m×25.0m), 450㎡, 最高3.7m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)  
 ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区間の配置図を制作して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて株の伸長方向を記載して下さい。  
 イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。  
 ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は排水口および排水溝を記入して下さい。



1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

処理月日	区分		A区	B区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法(概略)
	1	2				10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
1 2月 20日	①			無処理	1000倍	221 $\frac{1}{2}$ g	⑤0.0ml/5.0 $\frac{1}{2}$ %調製液を作製 13.4 $\frac{1}{2}$ ㎡に2.96 $\frac{1}{2}$ %を散布した	生育期	茎葉散布
1 2月 27日	①②				1000倍, 1500倍	221 $\frac{1}{2}$ g	⑥0.0ml, ②4.0ml/6.0 $\frac{1}{2}$ %調製液を作製 13.4 $\frac{1}{2}$ ㎡に2.96 $\frac{1}{2}$ %を散布した	生育期	茎葉散布
1 月 3日	①②③④			① $\frac{1}{2}$ パノキトリン(アグロスリン)乳剤	1000倍, 1500倍 10000倍, 2000倍	221 $\frac{1}{2}$ g	①0.0ml, ②4.0ml, ③0.60g, ④3.00g/6.0 $\frac{1}{2}$ % 調製液を作製 13.4 $\frac{1}{2}$ ㎡に2.96 $\frac{1}{2}$ %を散布した	生育期	茎葉散布
1 月 10日	①②③④			1000倍	1000倍, 1500倍 10000倍, 2000倍	221 $\frac{1}{2}$ g	①0.0ml, ②4.0ml, ③0.60g, ④3.00g/6.0 $\frac{1}{2}$ % 調製液を作製 13.4 $\frac{1}{2}$ ㎡に2.96 $\frac{1}{2}$ %を散布した	生育期	茎葉散布
1 月 14日	③			② $\frac{1}{2}$ フェブ $\frac{1}{2}$ カルブ(ハ $\frac{1}{2}$ ツ)乳剤	10000倍	221 $\frac{1}{2}$ g	③0.60g/6.0 $\frac{1}{2}$ %調製液を作製 13.4 $\frac{1}{2}$ ㎡に2.96 $\frac{1}{2}$ %を散布した	生育期	茎葉散布
1 月 16日	①②④			1500倍	1000倍, 1500倍 2000倍	221 $\frac{1}{2}$ g	⑥0.0ml, ②4.0ml, ③0.60g/6.0 $\frac{1}{2}$ %調製液を作製 13.4 $\frac{1}{2}$ ㎡に2.96 $\frac{1}{2}$ %を散布した	収穫初期	茎葉散布
				③ $\frac{1}{2}$ タ $\frac{1}{2}$ ク $\frac{1}{2}$ ア $\frac{1}{2}$ リト(ア $\frac{1}{2}$ マイヤ $\frac{1}{2}$ )顆粒水和剤					
				10000倍					
				④ $\frac{1}{2}$ ク $\frac{1}{2}$ チ $\frac{1}{2}$ エ $\frac{1}{2}$ ジ $\frac{1}{2}$ ン(タ $\frac{1}{2}$ ントリ)水溶剤					
				2000倍					

区分	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、 土壌電阻時の深度、土壌水分、種子消毒時の水温、液比等	処理時刻PM3:40~	特に降雨の有無と降雨時間、 処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
1 2月 20日	丸山製 バッテリ $\frac{1}{2}$ ー噴霧機	丸山製 MSB151-A+狭角ノズル	無風	処理時刻PM3:40~ 無風 処理後の天気は晴れ
1 2月 27日	丸山製 バッテリ $\frac{1}{2}$ ー噴霧機	丸山製 MSB151-A+狭角ノズル	無風	処理時刻AM9:55~ 無風 処理後の天気は晴れ
1 月 3日	丸山製 バッテリ $\frac{1}{2}$ ー噴霧機	丸山製 MSB151-A+狭角ノズル	無風	処理時刻PM2:30~ 無風 処理後の天気は晴れ
1 月 10日	丸山製 バッテリ $\frac{1}{2}$ ー噴霧機	丸山製 MSB151-A+狭角ノズル	無風	処理時刻AM11:50~ 無風 処理後の天気は晴れ
1 月 14日	丸山製 バッテリ $\frac{1}{2}$ ー噴霧機	丸山製 MSB151-A+狭角ノズル	無風	処理時刻PM1:54~ 無風 処理後の天気は曇り
1 月 16日	丸山製 バッテリ $\frac{1}{2}$ ー噴霧機	丸山製 MSB151-A+狭角ノズル	無風	処理時刻PM1:45~ 無風 処理後の天気は雨

(1) 展着剤 — 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する)

採取月日	区分	A 区 試料番号	B 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
1 月 1 7 日		A	B	AM7:25-7:32, 8:20-8:30 晴れ	B→A	各区 15個×1分析	1 月 1 7 日

採取月日	区分	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
1 月 1 7 日		1. 試料の大きさは ( 通常 ) 2. 熟期は ( ) 3. その他 ( ) 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)・採取方法の詳細、  
採取後包装のための輸送方法を記載

南北の境界部を除き、偏りがないよう区全体から採取専用のハサミを用いて果実を採取し、ボークスペーパーを敷いたカゴに入れた。

(2) 採取後の調製・梱包方法

果実を個別にボークスペーパーで包み、2重にしたポリ袋に入れ口を縛り、エアキャップ (小・2枚重ね) で包んだ。ダンボール箱の底にエアキャップ (大・2枚重ね) を敷き、その上にボークスペーパーを敷き入れ、包装した果実を並べ入れた。隙間および上部にボークスペーパーおよびエアキャップを詰めた。箱の内側に試験区ラベルを、外側に

梱包シールを貼り付けした。なお、試験区毎に別梱包とした。

(3) 試料送付先 分析機関：財団法人 残留農薬研究所

到着日指定、温度指定、  
輸送会社等

(4) 試料の輸送方法

ヤマト運輸株式会社の手で、着日および冷蔵を指定し送付した。

(5) 備考



気象表

観測地点および試料調製場所 観測地点：宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場内 当該試験施設 記号 ○：薬剤処理日 △：試料採取日

気温：平均気温 ( 1 時間毎) 降水量：日界 時

( 23 - 24 年 ) 測定時刻 時

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	気温 (施設内温度)	23.7	23.8	23.9	23.7	22.6	22.8	23.1	22.6	23.9	23.3	23.2	23.1	23.3	23.4	23.1	22.1	23.3																	
	降水量																																		
12	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)																				○														
	気温 (施設内温度)	23.7	23.8	23.9	23.7	22.6	22.8	23.1	22.6	23.9	23.3	23.2	23.1	23.3	23.4	23.1	22.1	23.3																	
	降水量																																		
1	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)			○						○					○		○	△																	
	気温 (施設内温度)			A						A					A		A	A, B																	

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合は「気温」欄へそれぞれ記入する。  
また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

<調理加工・メロン/ネット>

試験施設



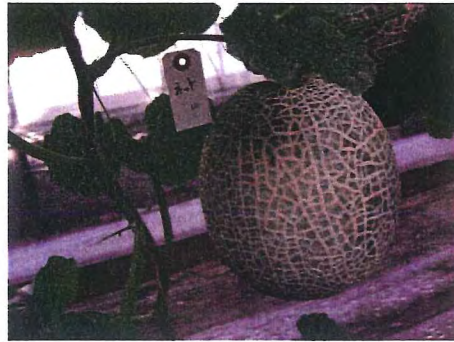
圃場風景



使用した散布機



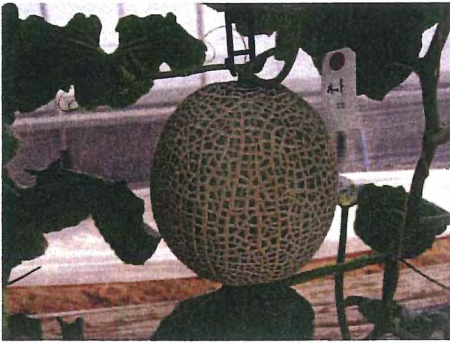
散布時作物  
処理 1 回



処理 2 回



处理 3 回



处理 4 回



処理 5 回



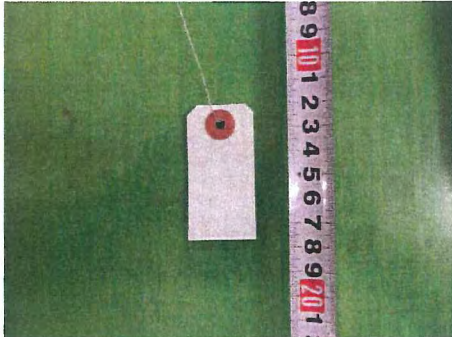
処理 6 回



採取時作物



※荷札の大きさ



# 平成23年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 23年11月 ~ 23年12月)

## 1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①ハネマトリン(チアキサリン)乳剤, ②フエアケル(バクサ)乳剤, ③イシカケル(7-メチル)顆粒水和剤, ④カチン(チンコ)水溶液
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①ハネマトリン 6.0%, ②フエアケル 50%, ③イシカケル 50%, ④カチン 16%
- (3) 被験物質のLot No. ①ハネマトリン A1D04, ②フエアケル 1201N, ③イシカケル TONO1, ④カチン SIC983

2. 農作物名 ノーネットメロン 品種名 ホームランスター改良系

3. 試験実施機関名 社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深瀬本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一

5. 土性 砂土・砂壤土(畑土)・壤土・軽殖土(○を付す) 減水深 1 cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹形、根植密度(畝間・株間)・株数(10a)、水管理等  
栽培資材(茶は茶いれ、砂ぼろ、いちご、おとうとう等の被験野菜、葉の染れいれ、对被験野菜の被験時期を記載する)

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 無袋

播種: 平成23年9月9日, 定植: 10月6日, 畝幅: 260cm, 株間: 50cm, 畝厚1条種2本仕立て,

約770株/10a, 施肥: 平成23年8月23日 ケントップ 1500kg/10a, 苦土石灰 100kg/10a,

9月8日 こうち園芸ペレット(6-8-4) 33kg/10a, 水肥処理: 11月2日~13日, 加温栽培,

マルチ栽培, その他管理は慣行に従った。

収穫期間(適期): 平成23年12月中旬 ~

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ

— 意見大して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

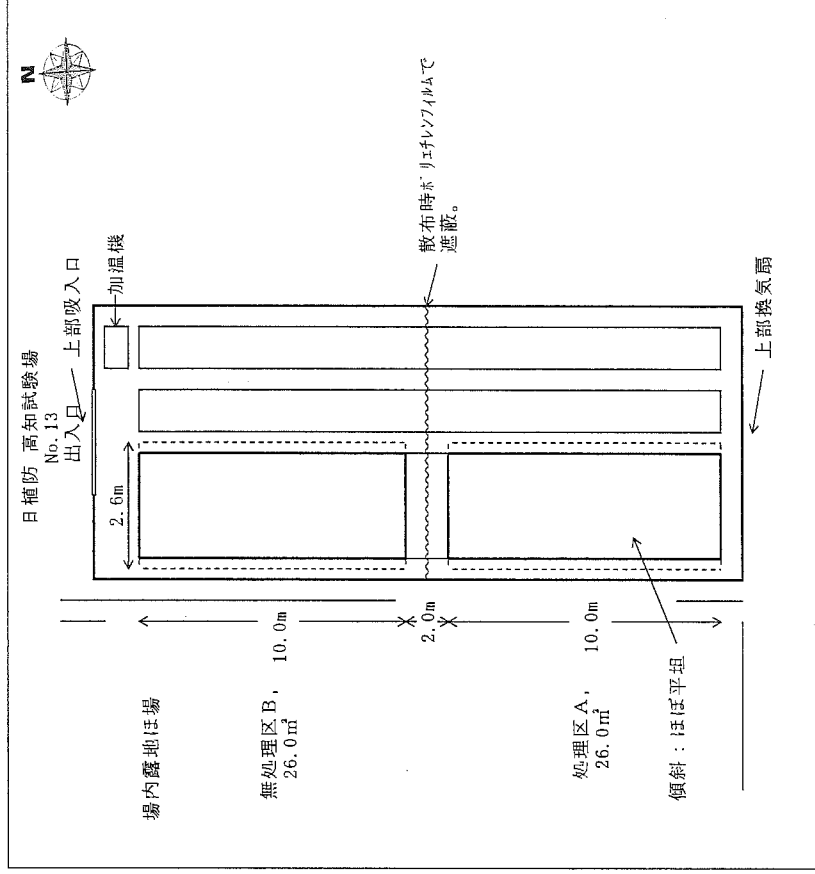
## 10. 試験区

- (1) 試験区の面積および本(株)数 処理区A: 26.0m<sup>2</sup>, 20株 無処理区B: 26.0m<sup>2</sup>, 20株
- (2) 施設の場合、面積・高さ 面積: 129.6m<sup>2</sup>, 容積: 347m<sup>3</sup>, 高さ: 3m
- (3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて株の伸長方向を記載して下さい。

ア) 下口内の点と点を結び、

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は排水口および排水口を記入して下さい。



1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
								10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H23年11月17日	①	無処理					①1000倍	280L	①7.3mL /7.3L/26.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月24日	①, ②						①1000倍, ②1500倍	280L	①7.3mL, ②4.87mL /7.3L/26.0㎡	成熟期	茎葉散布
12月1日	①, ②, ③, ④						①1000倍, ②1500倍, ③10000倍, ④2000倍	280L	①7.3mL, ②4.87mL, ③0.73g, ④3.65g /7.3L/26.0㎡	成熟期	茎葉散布
12月8日	①, ②, ③, ④						①1000倍, ②1500倍, ③10000倍, ④2000倍	280L	①7.3mL, ②4.87mL, ③0.73g, ④3.65g /7.3L/26.0㎡	成熟期	茎葉散布
12月12日	③						③10000倍	280L	③0.73g /7.3L/26.0㎡	成熟期	茎葉散布
12月14日	①, ②, ④						①1000倍, ②1500倍, ④2000倍	280L	①7.3mL, ②4.87mL, ④3.65g	収穫期	茎葉散布
月 日											
月 日											
月 日											
月 日											

①: シェルボルト(7ガリノスリ)乳剤  
 ②: フェノキソ(バット)乳剤  
 ③: イタクト(7ト)顆粒水和剤  
 ④: クロチピクリン(ダント)水溶剤

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等		処理時の天候を含む処理日の天気概況	
	処理時の環境条件等 土壌湿度、湿度、温度、土壌水分、種子発芽率、根長等	処理時の天候	処理開始時刻	処理終了時刻
H23年11月17日	背負式バグリー噴霧機(丸山製作所 MSB1111-A)にキョカコノリス #1 頭口を装着し均一に散布。	晴	16:20	晴れ後曇
11月24日	背負式バグリー噴霧機(丸山製作所 MSB1111-A)にキョカコノリス #1 頭口を装着し均一に散布。	晴	15:50	晴れ
12月1日	背負式バグリー噴霧機(丸山製作所 MSB1111-A)にキョカコノリス #1 頭口を装着し均一に散布。	曇	16:35	曇後雨
12月8日	背負式バグリー噴霧機(丸山製作所 MSB1111-A)にキョカコノリス #1 頭口を装着し均一に散布。	曇	15:00	曇後雨
12月12日	背負式バグリー噴霧機(丸山製作所 MSB1111-A)にキョカコノリス #1 頭口を装着し均一に散布。	晴	16:30	晴れ
12月14日	背負式バグリー噴霧機(丸山製作所 MSB1111-A)にキョカコノリス #1 頭口を装着し均一に散布。	晴	16:00	晴れ
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 一 展着剤名 一 濃度または量 一

(2) 備考 被験物質処理時、処理区と無処理区の区界にポリエチレンの遮蔽を設けた。



1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

採年月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H23.12.15	A	B (無処理)						採取 A: 11:30 ~ 11:40 天候: 晴れ B: 9:35 ~ 9:45	B → A	各区 12個 ×	12月15日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日
月 日										各区 以上 ×	月 日

採年月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)											
H23.12.15	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい) 2. 熟期は (やや早い) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい) 2. 熟期は (やや早い) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい) 2. 熟期は (やや早い) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい) 2. 熟期は (やや早い) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい) 2. 熟期は (やや早い) 3. その他 ( ) 4. 原因											
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい) 2. 熟期は (やや早い) 3. その他 ( ) 4. 原因											

(1) 試料採取方法  
 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、  
 処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から畝を用いて採取した。  
 採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで自動車で運んだ。  
 採取後の調製・梱包方法  
 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、梱包等の方法。出後の試料調製方法及び試料の梱包方法を記載  
 梱包紙を敷いた新しいダンボール箱の底にエアクッションを敷き、試料を個別に包装紙で包んだ後、そのダンボール箱に入れ梱包した。  
 ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り試験区毎に梱包した。

(3) 試料送付先 公的的分析機関： 財団法人 残留農薬研究所 社内分析機関： —  
 到着日を12月16日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、 輸送会社等

(5) 備考 —

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

平成22年秋冬作：トマト  
平成22年 9/2 ラクトアグ マカスポート 50倍 散布,  
10/22 ジマク イェン水和剤 800倍, ブーエー1000 1000倍 散布,  
11/5 フェンタラ顆粒水和剤 2000倍 散布,  
11/8 フェア パトリック アグ アグ レー 原液, ビレソアグ レー 原液, フェア パトリック アグ レー 原液,  
エス エル 水溶剤 2000倍 散布,  
11/15 シア ムン 顆粒水和剤 2000倍, ALI-0922乳剤 150倍, エス エル 水溶剤 2000倍 散布,  
11/15, 22, 29 コッパ 500倍 散布,  
12/13, 20, 27 コッパ 500倍 散布,  
12/13 エス エル 水溶剤 2000倍 散布,  
12/14 パス被剤 通路に200倍散布。

平成23年春夏作：すいか

平成23年 4/20 シマアグ 1000倍 散布,  
4/22 ナカ レン被剤 500倍 灌注,  
5/2 ベルカト水和剤 1000倍, シマアグ 1000倍 散布,  
6/3 フェンタラ顆粒水和剤 1000倍, フェンタラ顆粒水和剤 4000倍, エス エル 水溶剤 2000倍 散布,  
6/10 ベルカト水和剤 1000倍, モスツク水和剤 2000倍, マイクコアグ 1000倍 散布,  
7/25 シマアグ 1000倍, トボス 乳剤 1000倍 散布。

9. 被験物質以外に使用した農薬

平成23年 9/22 フェンタラ乳剤 2000倍, シカム顆粒水溶剤 2000倍 散布, (育苗期)  
10/13 フェンタラ乳剤 2000倍, ベストポート 水溶剤 1000倍, モスツク水和剤 4000倍 散布,  
11/4 ブーエー1000 1000倍, シカム顆粒水溶剤 2000倍, シカム水和剤 3000倍 散布,  
11/25 シカムポート アグ 1000倍, フェンタラ乳剤 2000倍, シカム顆粒水溶剤 2000倍 散布。

( 23-調理加工ノ-ネットメロン )

# 気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深測 (社)日本植物防疫協会 高知試験場

記号：○：薬剤処理日  
△：試料採取日

気温：平均気温 ( 1 時間毎) 降水量：日界 \_\_\_\_\_ 時

( 23年 )

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
1 1	気温 (施設内温度)																	18.9	17.8	21.3	19.9	19.5	19.3	17.9	19.7	19.7	19.6	19.8	18.6	20.9	20.8				
	降水量																																		
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)																	○						○											
	気温 (施設内温度)	16.9	16.7	19.3	20.1	19.8	19.6	18.4	15.9	19.5	19.5	19.5	19.1	19.5	20.0	19.4	19.7																		
1 2	降水量																																		
	薬剤処理/試料採取 区記号 (試料番号)	○					○					○			○	△																			
	気温 (施設内温度)																																		
	降水量																																		

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、データロガー (株式会社 アイデアイ おんどとり TR-71Ui) を使用した。



試験区



第1回散布時果実



第3回散布時果実



採取前日果実

平成 23 年度 農業作物残留量分析試料調製明細書

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①シベルメトリン(アクトスリン)乳剤, ②フエノプロカルボン(バツサ)乳剤, ③イミダクロプリド(アドマイヤー)顆粒水和剤, ④クロチアニジン(ダントツ)水溶液
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①シベルメトリン 6.0%, ②フエノプロ 50%, ③イミダクロプリド 50%, ④クロチアニジン 16%
- (3) 被験物質の Lot No. ①A1D04, ②1201N, ③TON01, ④SJC983

2. 農作物名 メロン (ノーネット) 品種名 ホームランスター改良型

3. 試験実施機関名 社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内圃場

4. 試験責任者氏名 櫻井昭寿 日高正浩 福元義人 和田倉誠也

5. 土性 砂壌土 一畝水深 1cm/日

6. 過去 1 年間に作付した作物及び使用した農薬 (別紙として掲載しません)  
H22秋冬作 カズチヤ 10/10/05 エズカク水和剤 3000倍 ヲマツア777 1000倍 ヲマツア乳剤 1000倍 カントク水溶液 2000倍  
10/10/18, 26 エズカク水和剤 3000倍 10/11/11 エズカク水和剤 3000倍 カントク水溶液 4000倍 10/11/25 エズカク水和剤 3000倍

カントク水溶液 4000倍 10/10/04 MCW-2(thiazosulfene)粒剤 20kg・30kg/10a, 定植当日, 全面上噴霧和  
H23冬春作 さやいんげん 11/2/10 スシツカスくん煙顆粒 6g/100㎡ 11/2/15 ヲマツア乳剤 1000倍 スシツカク水和剤 1000倍  
11/2/24, 3/10 スシツカスくん煙顆粒 6g/100㎡ 11/2/21, 28, 3/07 ヲマツア水和剤 1000倍 11/3/07  
N11-0712(N11-0711-7)エビ・トマト777 1000倍

H23春夏作 きゅうり 11/4/07 ジョウガ, 代水和剤 600倍 エズカク水和剤 3000倍 エズカク水和剤 4000倍  
アマト777 1000倍 11/4/15 ジョウガ, 代水和剤 600倍 エズカク水和剤 3000倍 11/4/26 ジョウガ, 代水和剤 600倍  
エズカク水和剤 3000倍 ヲマツア777 1000倍 11/5/03 エズカクVP3 200g/450㎡ 11/5/11 ジョウガ, 代水和剤 600倍  
スカーカク水和剤 2000倍 ヲマツア777 1000倍 11/5/31 エズカク水和剤 3000倍 ジョウガ, 代水和剤 600倍  
11/4/25, 5/02, 09, NE-171(新規)777, 45, 1000倍

7. 栽培概要 播種期, 移植期, 施肥の種別・量・時期, 摘果, 葉摘密度(畝間・株数/10a), 株数/10a, 水管理等, 肥料資材(未は養い, 砂散布), いちご, おとうとう等の殺菌時期, 茶の養い, 砂・トコ粒散布の殺菌時期を記載する。  
無袋

< 施設 > 播種: 平成23年9月22日 定植: 平成23年10月17日 畝間: 2.50m 株間: 0.45m 1条植 主枝2本

栽植本数(10aあたり): 900株 透明マルチ 圃場は概ね平坦

施肥(10aあたり): <元肥> 11/9/30 堆肥 3000kg 苦土石灰 140kg CDU複合機加安特S22(12-12-12) 50kg

有機配合888号(8-8-8) 75kg

< 追肥 > 無し

収穫期間(適期): 12/下~ 交配品種: 11/11/12~18

8. 生育ステージ 試験圃場に指定された生育ステージを記入下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙として掲載しません)  
<育苗期> 11/9/22 ガノコー1000 1000倍, 112/トイ灌注

11/10/12 エズカク水和剤 3000倍 エズカク水和剤 2000倍 ヲマツア777 1000倍 ヲマツア乳剤 1000倍

<定植後> 11/10/24 エズカク水和剤 3000倍 スカーカク水和剤 2000倍

11/11/10 エズカク水和剤 3000倍 スカーカク水和剤 2000倍 ヲマツア777 1000倍

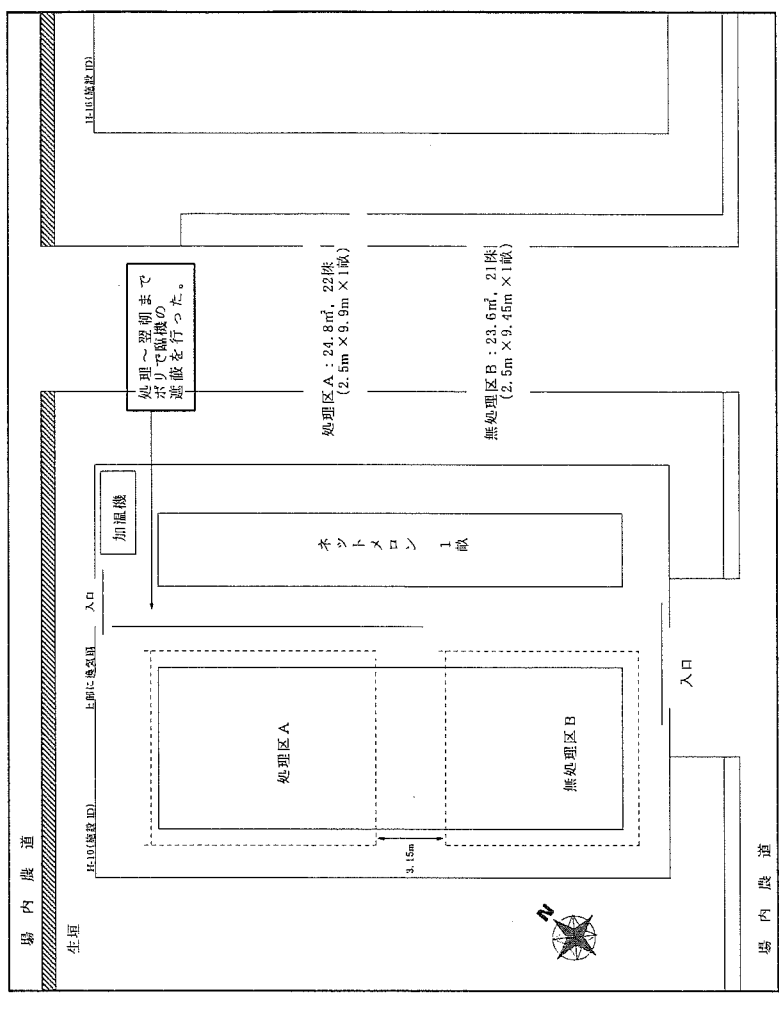
- 11/11/30 エズカク水和剤 3000倍 スシツカク水和剤 1000倍 ヲマツア乳剤 1000倍 ヲマツア777 2000倍
- 11/12/09 エズカク水和剤 3000倍 ヲマツア777 2000倍
- 11/12/22 エズカク水和剤 3000倍 ヲマツア777 1000倍 スシツカク水和剤 1000倍 エズカク水和剤 2000倍

10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A: 24.8㎡ (22株) 処理区B: 23.6㎡ (21株)

(2) 施設の都合・面積・容積・高さ 150㎡ (6.0m×25.0m), 450㎡, 最高3.7m

(3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)  
ア) 下口内の点と点を結び, 処理区および無処理区の配置図を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し, 必要に応じて枝の伸展方向を記載して下さい。  
イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。水田は排水口および排水溝を記入して下さい。  
ウ) 圃場の概方向, 方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。



1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

処理月日	区分		A区	B区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育ステージ	処理方法(概略)
	10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)							
1 2月 8日	①			無処理	1000倍	221 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	①7.0ml/7.0%調製液を作製 24.8㎡に5.47%を散布した	生育期	茎葉散布
1 2月 15日	①②				1000倍, 1500倍	221 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	①9.0ml, ②6.0ml/9.0%調製液を作製 24.8㎡に5.47%を散布した	生育期	茎葉散布
1 2月 22日	①②③④				1000倍, 1500倍 10000倍, 20000倍	221 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	①9.0ml, ②6.0ml, ③0.90g, ④4.50g/9.0% 調製液を作製 24.8㎡に5.47%を散布した	生育期	茎葉散布
1 2月 29日	①②③④			1000倍	1000倍, 1500倍 10000倍, 20000倍	221 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	①9.0ml, ②6.0ml, ③0.90g, ④4.50g/9.0% 調製液を作製 24.8㎡に5.47%を散布した	収穫初期	茎葉散布
1 月 2日	③			1500倍	10000倍	221 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	③0.70g/7.0%調製液を作製 24.8㎡に5.47%を散布した	収穫期	茎葉散布
1 月 4日	①②④				1000倍, 1500倍 2000倍	221 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	①9.0ml, ②6.0ml, ④4.50g/9.0%調製液を作製 24.8㎡に5.47%を散布した	収穫期	茎葉散布

区分	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械、噴霧機、噴霧機、流水散布時の水管理、 土壌処理時の深度、土壌水分、種子消毒時の水温、液比等	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
1 2月 8日	丸山製 バッテリ―噴霧機	MSB151-A+狭角ノズル	丸山製 バッテリ―噴霧機 MSB151-A+狭角ノズル	処理時刻AM9:30~ 天候:雨 無風 処理後の天気は雨のち曇り
1 2月 15日	丸山製 バッテリ―噴霧機	MSB151-A+狭角ノズル	丸山製 バッテリ―噴霧機 MSB151-A+狭角ノズル	処理時刻PM2:50~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ
1 2月 22日	丸山製 バッテリ―噴霧機	MSB151-A+狭角ノズル	丸山製 バッテリ―噴霧機 MSB151-A+狭角ノズル	処理時刻AM10:25~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ
1 2月 29日	丸山製 バッテリ―噴霧機	MSB151-A+狭角ノズル	丸山製 バッテリ―噴霧機 MSB151-A+狭角ノズル	処理時刻AM10:43~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ
1 月 2日	丸山製 バッテリ―噴霧機	MSB151-A+狭角ノズル	丸山製 バッテリ―噴霧機 MSB151-A+狭角ノズル	処理時刻PM0:03~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ
1 月 4日	丸山製 バッテリ―噴霧機	MSB151-A+狭角ノズル	丸山製 バッテリ―噴霧機 MSB151-A+狭角ノズル	処理時刻PM2:43~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ

(1) 展着剤 — 使用した区番号

展着剤名

濃度または量

(2) 備考

1. 2. 試料採取 ( 試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する )

採取月日	区	A 区 試料番号	B 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 ( 区番号順 )	試料送付量	試料送付月日
1 月 5 日		A	B	AM8:38-8:44, 9:11-9:25 晴れ	B→A	各区 18個×1分折	1 月 5 日

採取月日	区	試料採取方法	試料採取順 ( 区番号順 )	試料送付量	試料送付月日
1 月 5 日		1. 試料の大きさは ( 通常 ) 2. 熟期は ( 通常 ) 3. その他 ( ) 4. 原因			

送付試料について ( 該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する )

( 1 ) 試料採取方法 使用した器具 ( 機械 )、採取方法の詳細、採取後乾燥のための輸送方法を記載

南北の境界部を除き、偏りがないよう区全体から採取専用のハサミを用いて果実を採取し、ボークスペーパーを敷いたカゴに入れた。

( 2 ) 採取後の調製・梱包方法

果実を個別にボークスペーパーで包み、2重にしたポリ袋に入れ口を縛り、エアキャップ ( 小・2枚重ね ) で包んだ。ダンボール箱の底にエアキャップ ( 大・2枚重ね ) を敷き、その上にボークスペーパーを敷き入れ、包装した果実を並べ入れた。隙間および上部にボークスペーパーおよびエアキャップを詰めた。箱の内側に試験区ラベルを、外側に

梱包シールを貼り付け付した。なお、試験区毎に別梱包とした。

( 3 ) 試料送付先 分析機関：財団法人 残留農薬研究所

( 4 ) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、輸送会社等

ヤマト運輸株式会社 の便で、着日および冷蔵を指定し送付した。

( 5 ) 備考

# 気象表

観測地点および試験圃製場所 観測地点：宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場内 当該試験施設 記号 ○：薬剤処理日  
 気温：平均気温 ( 1 時間毎 ) 降水量：日界 時 時  
 △：試料採取日

( 23 - 24 年 )

測定時刻

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	気温 (施設内温度)							22.5	23.9	23.3	24.3	24.6	24.5	23.2	23.3	22.6	22.6	23.7	23.2	23.5	21.4	22.6	23.2	22.6	22.5	22.4	23.2	24.2	24.2	23.7	23.9		
12	降水量																																
	薬剤処理/試料採取							○															○										
	区記号 (試料番号)							A															A										
	気温 (施設内温度)	23.7	23.8	23.9	23.7	22.6																											
1	降水量																																
	薬剤処理/試料採取		○			△																											
	区記号 (試料番号)		A		A	A, B																											

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合は「気温」欄へそれぞれ記入する。  
 また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。



<調理加工・メロン/ノーネット>  
試験施設



圃場風景



使用した散布機



散布時作物  
処理 1 回



処理 2 回



处理 3 回



处理 4 回



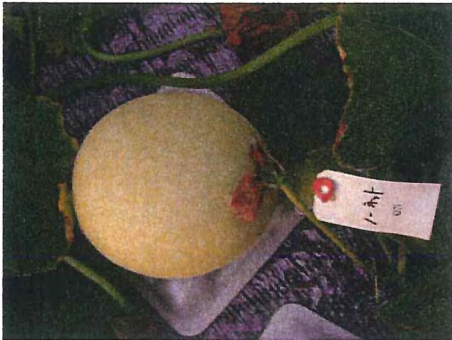
处理 5 回



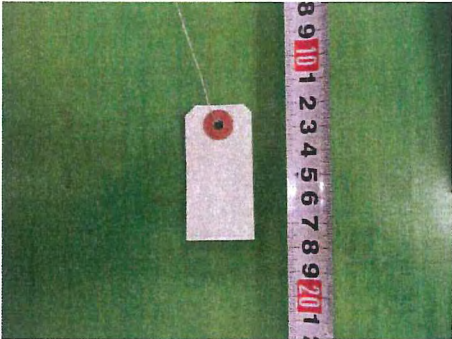
处理 6 回



採取時作物



※荷札の大きさ



# 平成 23年度 農薬作物残留量分析試験調製明細書

試験場名 日植防山梨

(試験期間 2011年10月)

## 1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型
  - ① シンベルメトリン (アヅロスリン) 乳剤
  - ② アロシンドン・ジエトフェンカルブ (スミブレンド) 水和剤
  - ③ アセタミプリド (モスピラン) 水溶液
- (2) 有効成分名及び成分含有率
  - ① シンベルメトリン: 6.0%
  - ② アロシンドン: 37.5%, ジエトフェンカルブ: 12.5%
  - ③ アセタミプリド: 20%
- (3) 被験物質の Lot No.
  - ① A1D04
  - ② HC104
  - ③ A1A21

2. 農作物名 キウイフルーツ 品種名 ヘイワード

3. 試験実施機関名 社団法人 日本植物防疫協会 研究所山梨試験地

試験圃場所在地 山梨県甲州市塩山牛奥 日植防借り上げ圃場

4. 試験責任者氏名 小林照二

5. 土性 砂土・砂壤土・○壤土・植壌土・壤土 (○を付す) 滅水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付した作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

キウイフルーツ: 22年8月中旬; スリファイト水和剤 1,500倍,

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(10a)、水管理等、  
被験資材(葉取資材(物重量) 1から、おとう等の葉取資材、葉の葉取資材)は試験調製の数量を記載する

露地・施設の別 露地 有袋・無袋の別 無袋

樹齢: 24年、栽植密度: 約14樹/10a (9×8m)、棚仕立て、樹高: 約1.7m,

施肥: 22年10月中旬; 配合肥料(10-18-12) 15kg/樹、整枝・剪定: 23年1月,

収穫期間(適期): 10月20日~11月10日

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ  
を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

なし

## 10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数 A区: 16㎡ (4m×4m)

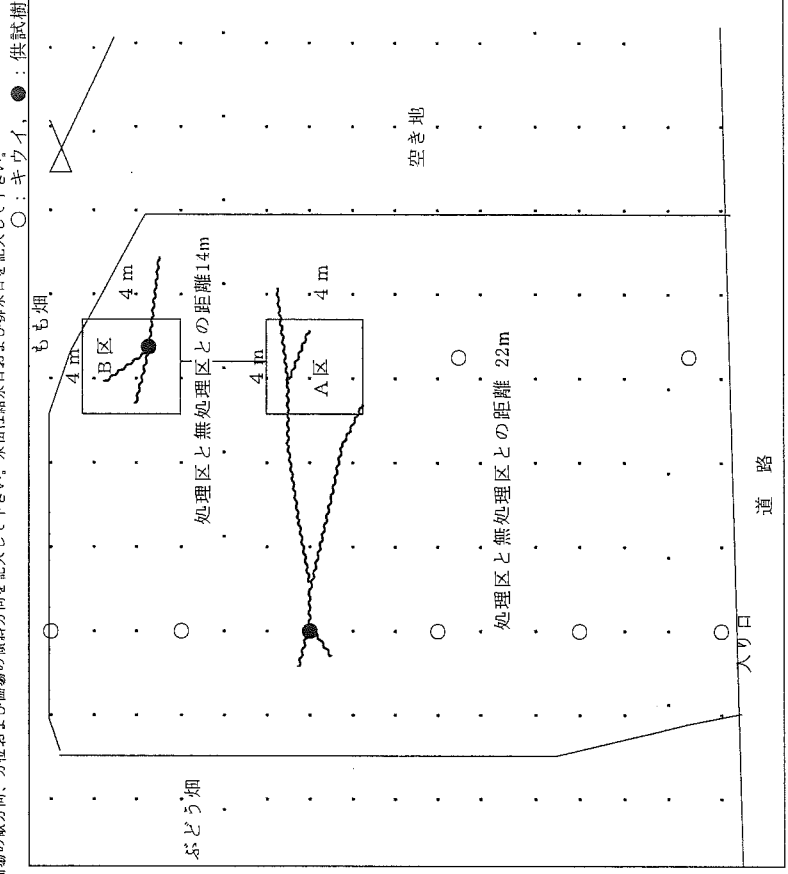
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 棚高: 1.5m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は排水口および排水口を記入して下さい。



(農薬登録に係る調理工加工試験)

試験場名 日植防山梨

1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)  
 ①アグロスリン乳剤, ②スミブレント水和剤, ③モスピラン水剤

区分	処理方法	A区	B区	C区	D区	E区	F区	G区	処理濃度	処理量		処理時の生育ステージ	処理方法 (概略)
										10a当	試験区当 (農薬量/散布量/面積)		
10月4日	①②③	○	○	○					①1000倍 ②2000倍 ③2000倍	①6.0ml/6L/16㎡ ②3.00g/6L/16㎡ ③3.00g/6L/16㎡	成熟期	茎葉全面散布	
10月11日	①②③	○	○	○					①1000倍 ②2000倍 ③2000倍	①6.0ml/6L/16㎡ ②3.00g/6L/16㎡ ③3.00g/6L/16㎡	成熟期	茎葉全面散布	
10月18日	①②③	○	○	○					①1000倍 ②2000倍 ③2000倍	①6.0ml/6L/16㎡ ②3.00g/6L/16㎡ ③3.00g/6L/16㎡	成熟期	茎葉全面散布	
10月24日	②	○							②2000倍	②3.00g/6L/16㎡	収穫期	茎葉全面散布	
月 日													
月 日													
月 日													
月 日													
月 日													
月 日													

区分	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具 (機材)、 散布機具 (機材)、 噴霧機 (機材)、 散布機 (機材)	処理時刻、 処理時の天候を含む 処理日の天気概況
10月4日	丸山製作用所製背負式バツテリ-噴霧機 (MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉 (果実を含む) 全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	丸山製作用所製背負式バツテリ-噴霧機 (MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉 (果実を含む) 全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	特に降雨の有無と降雨時間、 処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
10月11日	丸山製作用所製背負式バツテリ-噴霧機 (MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉 (果実を含む) 全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	丸山製作用所製背負式バツテリ-噴霧機 (MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉 (果実を含む) 全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	14時から散布。散布時の天候：晴れ。無風。 9時55分から散布。散布時の天候：晴れ。無風。
10月18日	丸山製作用所製背負式バツテリ-噴霧機 (MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉 (果実を含む) 全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	丸山製作用所製背負式バツテリ-噴霧機 (MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉 (果実を含む) 全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	10時35分から散布。散布時の天候：晴れ。無風。
10月24日	丸山製作用所製背負式バツテリ-噴霧機 (MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉 (果実を含む) 全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	丸山製作用所製背負式バツテリ-噴霧機 (MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉 (果実を含む) 全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	13時40分から散布。散布時の天候：晴れ一時曇り。無風。
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考 薬剤を均一に散布するために試験区16㎡を4区画(4m×4m)に分けて時間計測により散布した。また、各薬剤は試験圃場で散布直前に混用液を調製した。

1 2. 試験採取 (試験番号は試験送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

採取月日	A区 試験番号	B区 試験番号	C区 試験番号	D区 試験番号	E区 試験番号	F区 試験番号	G区 試験番号	試験採取時刻と天候	試験採取順 (区番号順)	試験送付量	試験送付月日
10月25日	A	B						B区: 9時10分~30分 A区: 9時55分~10時15分	B→A	B区 34個 (5.5kg) × 1分析 A区 35個 (5.3kg) × 1分析	10月25日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日

採取月日	送付試験料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)										
10月25日	1. 試験の大きさは <input checked="" type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> やや小さい <input type="checkbox"/> やや大きい <input type="checkbox"/> 大きさにバラツキがある <input type="checkbox"/> 2. 熟期は (やや早い <input type="checkbox"/> やや遅熟 <input type="checkbox"/> ) 3. その他 ( ) 4. 原因										
月 日	1. 試験の大きさは (やや大きい <input type="checkbox"/> やや小さい <input type="checkbox"/> ) 2. 熟期は (やや早い <input type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> やや遅熟 <input type="checkbox"/> ) 3. その他 ( ) 4. 原因										
月 日	1. 試験の大きさは (やや小さい <input type="checkbox"/> やや大きい <input type="checkbox"/> ) 2. 熟期は (やや早い <input type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> やや遅熟 <input type="checkbox"/> ) 3. その他 ( ) 4. 原因										
月 日	1. 試験の大きさは (やや大きい <input type="checkbox"/> やや小さい <input type="checkbox"/> ) 2. 熟期は (やや早い <input type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> やや遅熟 <input type="checkbox"/> ) 3. その他 ( ) 4. 原因										
月 日	1. 試験の大きさは (やや小さい <input type="checkbox"/> やや大きい <input type="checkbox"/> ) 2. 熟期は (やや早い <input type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> やや遅熟 <input type="checkbox"/> ) 3. その他 ( ) 4. 原因										
月 日	1. 試験の大きさは (やや大きい <input type="checkbox"/> やや小さい <input type="checkbox"/> ) 2. 熟期は (やや早い <input type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> やや遅熟 <input type="checkbox"/> ) 3. その他 ( ) 4. 原因										

(1) 試験採取方法

使用した器具 (機械)、採取方法の詳細。  
薬剤散布時に分けた4区画の境界部を除きディスプレイポスター手袋をはめた手で、1区画10個以上合計40個以上を採取した。(手袋は試験区毎に交換した。)

(2) 採取後の調製・梱包方法

試験採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、脱皮、型どり等の方法、調製、型どり等の方法、調製後の試験調製方法および試験の梱包方法を記載。  
採取後は圃場隣接地で、各区大ききの揃った果実(130~180g【山梨県青果標準出荷規格:2L~3L相当】)を約35個選び、新しいダンボール箱にわら半紙を緩衝材として用いて梱包した。

(3) 試験送付先

分析機関: 財団法人 残留農薬研究所

(4) 試験の輸送方法

到着日指定、温度指定、採取当日、ヤマト運輸(株)のクール宅急便(冷蔵)で翌日午前中着指定で送付した。

(5) 備考

採取後は貯蔵、追熟は行わず直ちに分析場所に送付した。



(農薬登録に係る調理加工試験) 気象表

試験実施場所は観測地点から約 2 km 南東

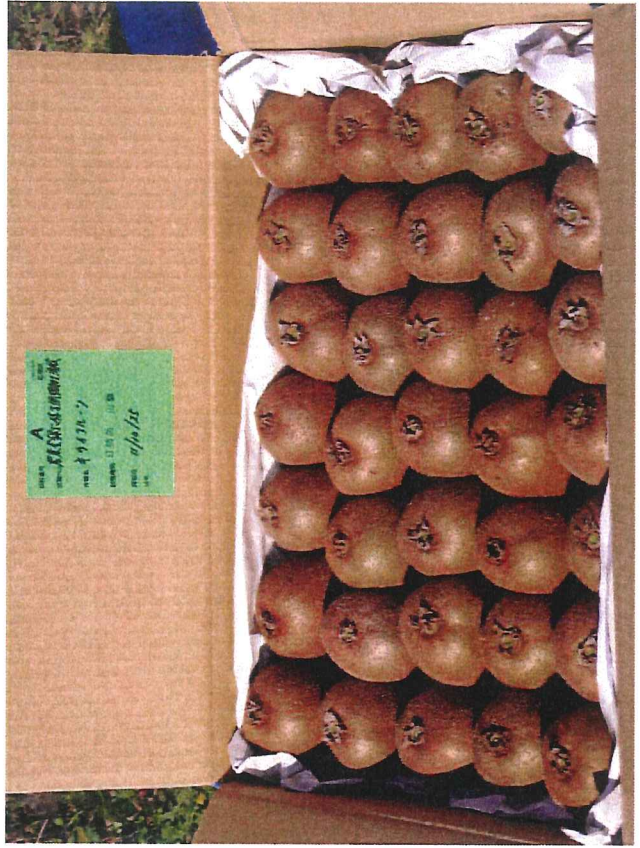
勝沼 2011年10月 (日ごとの値) 主要要素

日	降水量(mm)			気温(°C)			風向・風速(m/s)						日照 時間 (h)	雪(cm)	
	合計	最大		平均	最高	最低	平均 風速	最大風速		最大瞬間		最多 風向		降雪 合計	最深積雪 値
		1時間	10分間					風速	風向	風速	風向				
1	0.0	0.0	0.0	18.9	24.5	15.9	1.8	5.8	東南東	10.1	東南東	東南東	1.1	///	///
2	0.0	0.0	0.0	16.8	23.6	12.9	2.0	6.3	東南東	12.0	南東	東南東	4.2	///	///
3	0.0	0.0	0.0	16.0	22.4	12.8	1.7	6.3	東南東	11.6	東南東	南西	7.8	///	///
4	0.0	0.0	0.0	15.2	22.9	10.1	1.4	4.6	東南東	7.9	東南東	東南東	8.4	///	///
5	22.5	5.0	1.5	13.9	15.4	12.6	0.4	1.5	北西	2.5	西	北西	0.0	///	///
6	3.0	2.0	0.5	18.3	25.9	13.7	1.1	5.8	南東	9.1	南南東	西南西	8.0	///	///
7	0.0	0.0	0.0	17.5	25.0	10.0	1.7	5.3	北西	13.3	北西	東	10.2	///	///
8	0.0	0.0	0.0	15.1	22.0	9.2	1.1	4.5	東南東	7.5	東南東	南東	7.4	///	///
9	0.0	0.0	0.0	16.2	23.7	10.5	1.7	4.9	南東	8.6	東	東南東	9.0	///	///
10	0.0	0.0	0.0	17.0	25.1	10.9	0.9	4.4	東南東	7.3	東南東	東	9.6	///	///
11	0.0	0.0	0.0	15.3	21.2	10.7	0.6	1.7	東南東	3.9	南東	東	3.3	///	///
12	0.0	0.0	0.0	16.4	23.6	10.8	0.8	4.2	東南東	7.0	東南東	北東	9.8	///	///
13	0.0	0.0	0.0	16.6	20.7	13.7	0.6	2.4	南東	4.1	南東	東北東	0.7	///	///
14	0.0	0.0	0.0	16.5	20.0	11.8	0.6	1.9	東南東	4.4	西	東南東	3.6	///	///
15	25.5	5.5	2.0	18.4	21.9	15.9	0.7	2.3	南東	4.5	南東	南南東	0.0	///	///
16	9.0	6.0	1.5	20.5	28.9	13.2	1.0	3.8	東南東	6.2	東南東	東	8.5	///	///
17	0.0	0.0	0.0	15.8	22.0	10.3	0.8	3.1	南東	5.2	南東	東	6.2	///	///
18	0.0	0.0	0.0	16.4	22.6	12.5	2.0	5.6	南東	10.5	東南東	南東	6.9	///	///
19	0.0	0.0	0.0	13.0	16.4	9.9	2.5	7.0	南東	12.3	東南東	東南東	1.2	///	///
20	0.0	0.0	0.0	14.9	19.2	10.0	2.9	7.2	東南東	12.1	南東	東南東	4.8	///	///
21	2.0	1.5	0.5	15.4	19.6	10.7	1.6	4.5	東南東	8.0	東南東	東南東	0.0	///	///
22	22.0	7.0	3.0	16.6	19.7	14.6	0.5	1.9	西南西	3.6	西	南	0.9	///	///
23	0.0	0.0	0.0	19.4	24.1	15.8	0.9	3.3	南東	5.8	南東	西北西	3.9	///	///
24	0.0	0.0	0.0	19.1	24.9	16.2	1.2	4.9	東南東	7.7	東南東	南東	2.9	///	///
25	0.0	0.0	0.0	18.7	24.2	15.0	1.0	2.9	南東	6.2	南西	南西	5.6	///	///
26	0.0	0.0	0.0	13.3	19.5	7.2	1.1	4.1	東南東	8.1	東南東	西	7.8	///	///
27	0.0	0.0	0.0	10.5	18.4	3.9	1.3	5.8	南東	9.3	南東	東南東	9.8	///	///
28	0.0	0.0	0.0	10.9	19.4	4.7	0.8	3.7	南東	6.6	南東	西北西	9.4	///	///
29	0.0	0.0	0.0	12.4	21.5	5.5	1.4	5.6	南東	10.3	南東	南東	8.9	///	///
30	0.0	0.0	0.0	13.0	16.6	9.5	0.6	2.8	東南東	6.3	南東	西	0.7	///	///
31	0.0	0.0	0.0	15.1	24.1	9.5	1.3	6.9	東南東	11.8	南東	南東	9.1	///	///

データに付加している記号の意味



散布状況



梱包



試験区



採取状況